

企業の皆様と 共に取り組む プロジェクト

- ・ 企業版ふるさと納税
- ・ 協働
- ・ 遊休施設の利活用



エールを北のチカラに。

ほっかいどう

応援団会議

ほっかいどう応援団会議	1
-------------	---

企業版ふるさと納税制度の概要	2
----------------	---

北海道179市町村と14（総合）振興局	4
---------------------	---

企業版ふるさと納税の活用事例

（交流人口・関係人口の拡大に向けた取組）

■妹背牛町	新たな人の流れをつくり交流人口の増加を図る事業	5
■真狩村	交流・関係人口や移住者の増加に向けて	6
■様似町	アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり	6
■新ひだか町	「二十間道路桜並木」の感動の世界へ	7
■美瑛町	関係人口の創出・拡大からひと・しごとを呼び込む循環づくり	7
■中富良野町	観光入込客数の増加や農産物のPR	8
■南富良野町	重点「道の駅」や周辺での賑わい創出支援	8
■中川町	中川町地域商社と東京都世田谷区サテライトスペース連携事業	9
■利尻町	廃校を活用した関係人口の拡大	9
■利尻富士町	関係人口拡大、移住・定住促進事業	10
■西興部村	日本最北のバッティングセンターがある「森林公園リニューアル事業」	10
■広尾町	サンタの森を活用し、林業振興・交流人口の拡大をめざす！	11
■広尾町	広尾サンタランドの魅力を発信、関係人口の増加をめざす！	11
■標茶町	観光情報と環境保全啓発の発信拠点再整備による交流人口の拡大と上質な滞在環境の創出	12

（地域の特性を生かしたまちづくり）

■南幌町	子ども達の遊びの拠点整備とエリアマネジメント	13
■恵庭市	アプリを使ったつながるまちづくり	13
■当別町	ロイズタウン駅を中心としたまちの新たな周遊空間の創造	14
■黒松内町	訪れたくなるまちをつくる	14
■安平町	北海道胆振東部地震で被災した早来中学校の再建により教育とコミュニティを再生	15

（自然・環境の保全に向けた取組）

■長沼町	タンチョウも住めるまちづくり	16
■栗山町	ハサンベツ里山の保全活動事業	16
■京極町	北海道遺産「ふきだし湧水」を守る	17

（文化・スポーツの振興、歴史に関する取組）

■美唄市	ベースボールを核とした地域活性化	18
■深川市	「スポーツ」がもたらす効果でコロナ禍や人口減少に負けないまちづくり	18
■北広島市	ボールパーク構想と連携した新たな価値の創造	19
■浦河町	浦河町出身 田中光敏監督による映画製作の実現	19
■名寄市	冬季スポーツ拠点化プロジェクト	20
■東川町	アイヌ文化とアイヌの誇りを国内外に	20
■東川町	世界中の写真と出逢い、世界中の人々がふれあい、世界中が笑顔に溢れる写真文化首都	21
■上富良野町	活火山の恵みと脅威を活力に	21
■北見市	トップアスリートのニーズに対応する先導的なカーリングホールの活用	22
■遠軽町	10トンディーゼル機関車に再び汽笛を	22
■釧路市	プロスポーツチームへの支援によりスポーツ振興を	23
■釧路町	トップアスリートとの持続可能な交流を実現	23
■白糠町	「ウレシパ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト	24

（くらし・子育て・健康に関する取組）

■芦別市	子ども一人ひとりのニーズに合わせた特別支援教育の推進	25
■倶知安町	くっちゃんて暮らす幸せを感じるための事業	25
■仁木町	「NIKI交流プラザ(仮称)」の整備	26
■増毛町	「高血圧ゼロ」で元気に長生きできるまち	26
■初山別村	住民との協働によるデマンド型車両運行の推進	27
■中頓別町	新たな交通手段により誰もが安心して暮らせる町へ	27
■釧路市	安心して子どもを生み育てられる環境づくり	28

（産業の発展に向けた取組）

■三笠市	CO ₂ 排出量実質ゼロの水素製造へ	29
■北竜町	ひまわりを活用した魅力あるまちづくり	29
■石狩市	再エネの地産地活の実現に向けて	30
■岩内町	地場産業の活性化に向けた海洋深層水の新たな挑戦	30
■余市町	食の都よいちフルコースプロジェクト	31
■赤井川村	新規就農者育成プロジェクト	31
■八雲町	「道産サーモン」と「研修牧場」で産業を活性化し働く人をつくる	32
■名寄市	「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けて	32
■大樹町	大樹発！航空宇宙関連作業の集積による地域創生の推進	33

（ICT・AIを活用した取組）

■岩見沢市	未来技術を活用したスマート・アグリシティの実現	34
■猿払村	I o Tを活用し猿払に最適な施設園芸を！	34
■上士幌町	I C T先端技術を活用したスマートタウンの推進	35

（人材育成・教育に関する取組）

■沼田町	2 0 2 3 年「自然学校」の設立	36
■札幌市	さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成	36
■岩内町	岩内高等学校との連携事業	37
■知内町	過疎が進む小さな町の高校を魅力化	37
■音威子府村	村立おといねっぷ美術工芸高校の魅力化	38
■枝幸町	地域医療を支える人材育成・確保	38
■釧路市	1 人の雇用を生む 1 0 0 社の育成を目指して	39

（総合（まち・ひと・しごと創生推進事業））

■秩父別町	秩父別町まち・ひと・しごと創生推進事業	40
■ニセコ町	SDG s ～未来へ向けた持続可能なまちづくり	40
■共和町	共和町まち・ひと・しごと創生推進事業	41

■古平町	古平町まち・ひと・しごと創生推進事業	41
■室蘭市	室蘭市まち・ひと・しごと創生推進事業	42
■苫小牧市	雇用・子育て・移住・地域ブランド向上など総合的なまちづくり	42
■登別市	登別市まち・ひと・しごと創生推進事業	43
■伊達市	伊達市まち・ひと・しごと創生推進事業	43
■壮瞥町	壮瞥町まち・ひと・しごと創生推進事業	44
■洞爺湖町	洞爺湖町まち・ひと・しごと創生推進事業	44
■様似町	様似町まち・ひと・しごと創生推進計画	45
■函館市	函館市まち・ひと・しごと創生推進事業	45
■北斗市	北斗市まち・ひと・しごと創生推進事業	46
■七飯町	七飯町まち・ひと・しごと創生推進事業	46
■鹿部町	鹿部町まち・ひと・しごと創生推進事業	47
■旭川市	旭川市まち・ひと・しごと創生推進事業	47
■士別市	士別市まち・ひと・しごと創生推進事業	48
■愛別町	愛別町まち・ひと・しごと創生推進事業	48
■下川町	下川町まち・ひと・しごと創生推進事業	49
■浜頓別町	浜頓別町まち・ひと・しごと創生推進計画	49
■池田町	池田町まち・ひと・しごと創生推進事業	50
■根室市	根室市まち・ひと・しごと創生推進事業	50
■中標津町	中標津町まち・ひと・しごと創生推進事業	51

協働事業の活用事例

■長沼町	タンチョウも住めるまちづくり	52
■ニセコ町	SDG s ～未来へ向けた持続可能なまちづくり	52
■岩内町	岩内町発祥の地域素材を活用した「イワナイブランド」の確立	53

■仁木町	企業と連携して次世代観光拠点を整備	53
■室蘭市	室蘭から新しいビジネスがはじまる。「サテライトオフィス室蘭」	53
■苫小牧市	苫小牧での就職を促したい！	54
■えりも町	えりも岬を蘇らせた漁師たちの実話を基にした映画製作の実現	54
■北斗市	企業誘致に係る連携・支援	54
■名寄市	名寄市のスポーツ競技施設を活用したスポーツツーリズム等の開発・販売	55
■東川町	東川オフィシャルパートナー制度	55
■音威子府村	村立おといねっぷ美術工芸高校の魅力化	55
■小平町	おびら和牛の振興に向けて	56
■枝幸町	労働力・人材不足の解消	56
■利尻富士町	新産業開拓プロジェクト	56
■遠軽町	サテライトオフィス等の設置に対する補助	57
■豊頃町	過疎地における地域内交通手段の確保	57
■鶴居村/黒松内町/美瑛町/赤井川村/標津町/江差町/清里町/京極町/中札内村	日本で最も美しい村ビューティフルデー	57

道内市町村で利活用が可能な遊休施設

■蘭越町	おおゆぬま 蘭越町大湯沼自然展示館	58
■積丹町	しゃごたん 旧積丹岬キャンプ場	59
■積丹町	いりか 旧入舸小学校	59
■新冠町	せつぶ 旧節婦小学校	60
■様似町	旧ソビラ荘（特別養護老人ホーム）	60
■新ひだか町	はるたち 旧春立小学校	61
■新ひだか町	けりまい 旧鳶舞小学校	61
■えりも町	とうよう 旧東洋小学校	62
■旭川市	ちよがおか 旧千代ヶ岡小学校	62

■旭川市	かむいこたん 旧神居古潭小中学校	63
■旭川市	ちよがおか 旧千代ヶ岡中学校	63
■旭川市	うぶん 旧雨粉中学校	64
■旭川市	ほくと 旧北海道旭川北都商業高等学校	64
■比布町	らんる 旧蘭留小学校	65
■上富良野町	えほろ 旧江幌小学校	65
■上富良野町	ひかしなか 旧東中中学校	66
■中富良野町	みなみなか 旧南中小学校	66
■稚内市	さらきとまない 旧更喜苔内小学校	67
■稚内市	まかりふち 旧曲渚小中学校	67
■稚内市	かばおか 旧樺岡小中学校	68
■稚内市	とよべつ 旧豊別小中学校	68
■稚内市	かみしゅうとく 旧上修徳小中学校	69
■稚内市	ひかしうら 旧東浦小中学校	69
■稚内市	あけぼの 旧曙小学校	70
■稚内市	しもゆうち 旧下勇知小中学校	70
■稚内市		71
■稚内市	かみゆうち 旧上勇知小中学校	71
■士幌町	にしかみおとふけ 旧西上音更小学校	72
■上士幌町	ほくもん 旧北門小学校	72
■厚岸町	かみおぼろ 旧上尾幌小中学校	73
■厚岸町	とこたん 旧床潭小学校	73
■標茶町	くちょう 旧久著呂中央小中学校	74
■標茶町	いやさか 旧弥栄小学校	74

■北海道（小樽市）	旧北海道小樽聾学校	75
■北海道（函館市）	旧北海道戸井高等学校	75
■北海道（留萌市）	旧北海道留萌高等学校	76
■北海道（浦幌町）	旧北海道浦幌高等学校	76

持続可能な開発目標（SDG s（Sustainable Development Goals））とは

- ・ 2015年9月、国連において採択された国際社会共通の目標であり、先進国、開発途上国を問わず、その達成に向けた取組が広がっています。
- ・ 北海道においても、これから先の50年、100年後に向け、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、先人から受け継いだ多種多様な地域資源を活かしながら、SDG s の達成に向けた取組を積極的に推進していくことが重要です。
- ・ このため、道内の個人や企業・団体、NPO、行政機関など各層にSDG s が浸透し、幅広い分野や地域で具体的な取組が展開されるよう、多様な主体が連携・協働する全道的なネットワークとして、「北海道SDG s 推進ネットワーク」を設立するなど、SDG s 推進に貢献する取組を進めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「北海道に縁がある」、「北海道が大好き」という企業・団体や個人の皆様など、北海道を応援していただける方々のエールを見える化するためのネットワークとして、令和元年9月に発足しました。

応援の受け皿

応援の見える化

官民連携のステップアップ

資金面

協働活動

事業活動

- ・企業版ふるさと納税
- ・その他の寄附
- ・連携協定の締結
- ・タイアップ事業の実施
- ・企業立地
- ・道産品販路拡大・PR

参加数の推移

参加数は大きく増加！

企業・団体

個人（道ファン子）



（様々な応援の形）



（エールを北の医療へ！）
寄附 約13億円



（包括連携協定の下、企業同士が連携）



（牛乳の消費拡大）



（高齢者運転免許自主返納サポート制度によるサービス提供）

応援団会議では

●セミナーで情報共有

メンバーの皆様と道・市町村との交流の場として、「ほっかいどう応援セミナー」を開催



●Webで広く情報発信

ポータルサイトやSNSで協働の取組実績等を幅広く発信

ポータルサイト
はこちら



●プロジェクトの提案

メンバーの皆様からの協働プロジェクトの提案を受付



応援団メンバーになりましょう！

参加していただける企業・団体、個人の方（道ファン子）を募集しています！

SNSで簡単登録！

企業・団体
の皆様

道庁官民連携推進室へ

☎：011-204-5158
E-mail：hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp

個人の皆様



企業版ふるさと納税制度の概要

「企業版ふるさと納税」は、企業の皆様が、こころざしを寄附のかたちで地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けることができる制度です。

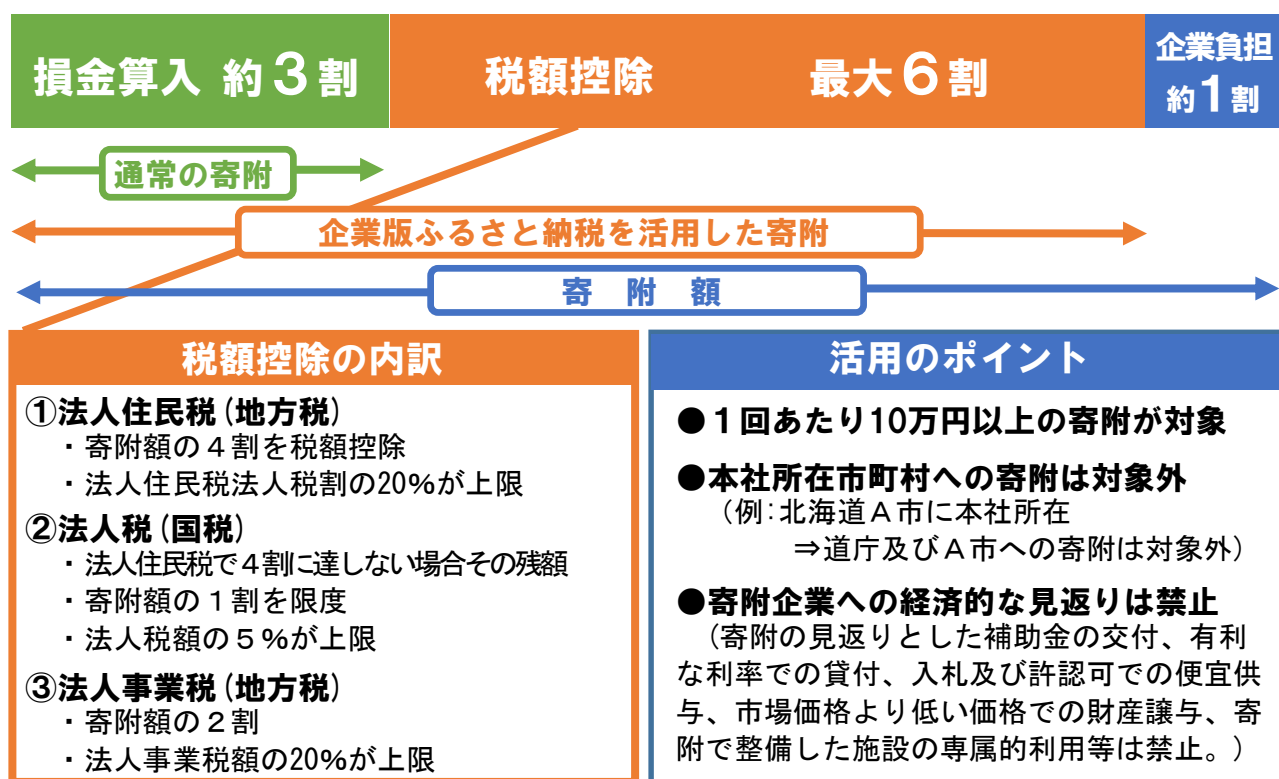
企業の皆様にとっても、大きなメリットのある制度です。本制度を活用し、道や道内市町村の未来づくりに向けた取組をともに進めましょう！

（税額控除の特別措置は令和6年度まで！）

メリット
1

税軽減は寄附額の最大9割、実質負担は1割！

例えば、100万円の寄附をすると、最大約90万円の法人関係税が軽減



メリット
2

「社会・地域貢献」や「新たな事業展開」にもつながる！

企業のPRに

ふるさと、被災地の復興等への支援

SDGsの達成

社員のモチベーションアップ

道（市町村）との新たなパートナーシップの構築

etc

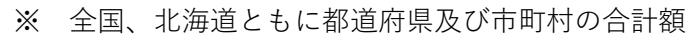
道では

ポータルサイト
は
こ
ち
ら

- 感謝状の贈呈やホームページ・啓発チラシ等で企業名を紹介！
- ほっかいどう応援団会議ポータルサイトで、参加企業の取組など様々な情報を発信！



年度以降、全国、北海道ともに大きく増加しています。



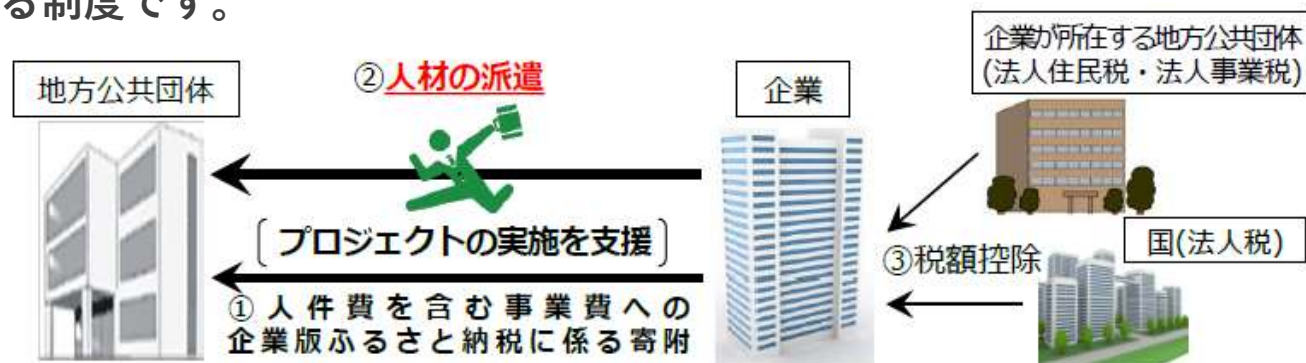
地方創生に資する様々な事業に活用されています。

※ 全国、北海道ともに都道府県及び市町村の合計額

企業版ふるさと納税（人材派遣型）の概要

企業版ふるさと納税の仕組みを利用し、企業が専門的知識・ノウハウを有する人材を地方公共団体等に派遣。

その人件費等を含めた事業費を寄附した場合に、税の軽減効果を受けられる制度です。



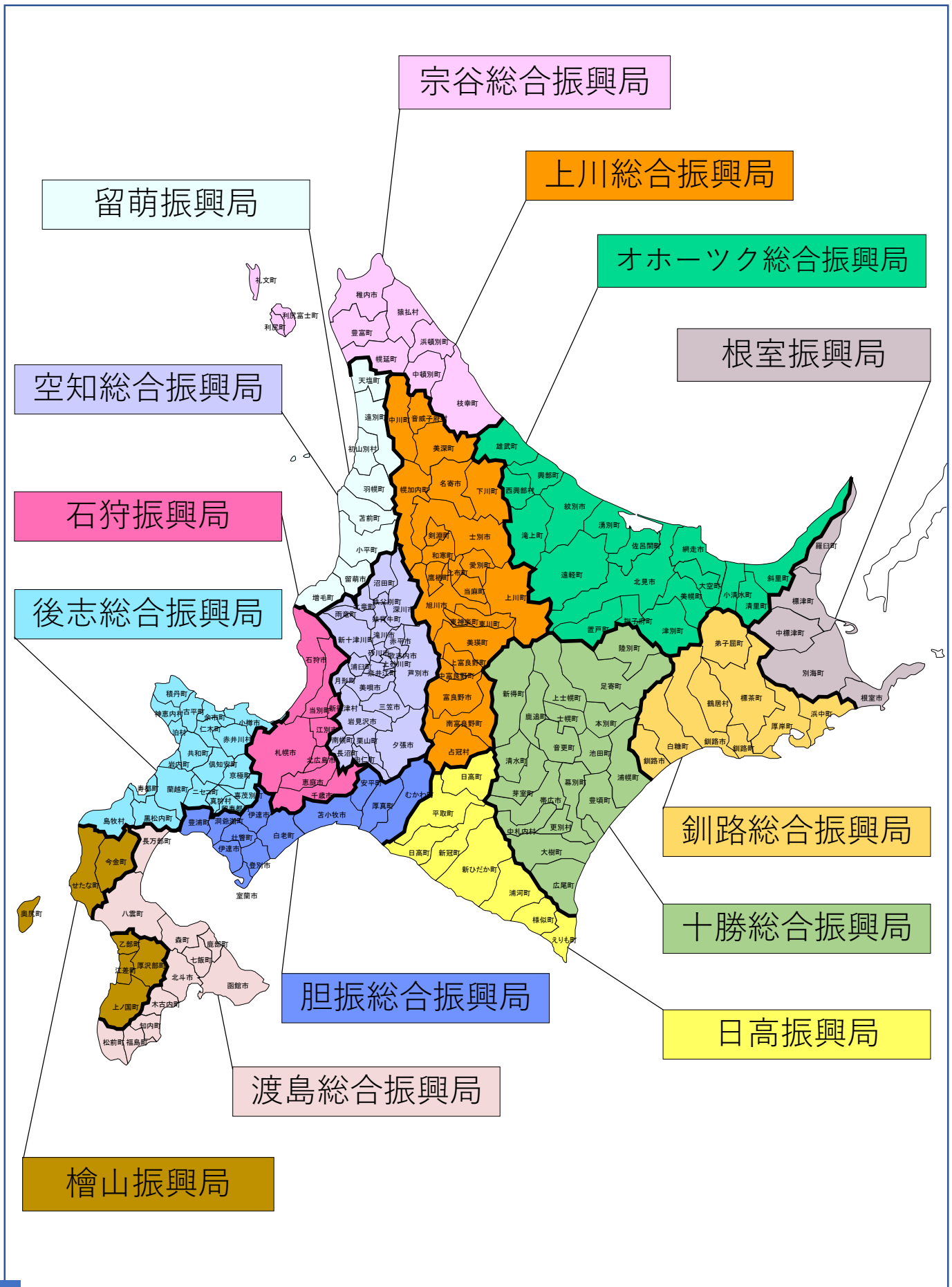
企業のメリット

- ・人件費相当額を含む寄附額の最大約 9 割に税の軽減効果
- ・企業ノウハウの活用による地域貢献
- ・人材育成の機会としての活用

地方公共団体のメリット

- ・専門的知識やノウハウを有する人材の登用による地方創生事業の充実・強化
- ・人件費の負担なく人材の受入が可能
- ・関係人口の創出・拡大

北海道179市町村と14(総合)振興局



企業版ふるさと納税の活用事例



市町村の企業版ふるさと納税の活用事例を紹介しています。地域が抱える課題もさまざまです。
課題解決に向け、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

妹背牛町

人 口 2,757人(2022.1)
主な観光ポイント
遊水公園、カーリングホール

新たな人の流れをつくり交流人口の増加を図る事業



現在の妹背牛温泉ペペル



隣接する遊水公園のウォータースライダー

開業から30年が経過した観光拠点の挑戦

妹背牛温泉ペペルは、本町の観光拠点として町内外から多くの方々に利用されてきました。しかし、急速に進む人口減少などにより、利用者が減少傾向にあります。

温泉利用客と立ち寄り客の双方が利用しやすいオープンで一体化した売店とレストランの設置のほか、北海道の四季を感じ取れるようサウナの屋外移設、2階宴会場を長時間滞在したくなるような多目的スペースへの改修など、利用者のニーズを的確に捉え、妹背牛町へ新しい人の流れをつくり、交流人口の増加と町の活性化を目指します。

■プロジェクト

利用者ニーズを捉え、新たな人の流れをつくるプロジェクト

温泉施設・売店・レストラン・サウナのリニューアル

事業年度・事業費

令和5年度



四季を感じることが出来る露天風呂



〈妹背牛町企画振興課企画振興G〉

☎0164-34-8581

mail: shinkog@town.moseushi.lg.jp

真狩村

人口 1,951人(2022.1)
主な観光ポイント
まったり温泉、細川たかし像

■プロジェクト

交流・関係人口及び移住者拡大プロジェクト

ワーケーション推進事業／移住定住促進事業／子育て環境整備事業 など

交流・関係人口や移住者の増加に向けて



羊蹄山を望む真狩村市街地



読書祭りの様子

ワーケーションなど新たな事業を展開

真狩村は、羊蹄山の南麓に位置しており、そこからもたらされる美しい風景や食などの地域資源を活かし、交流・関係人口や移住者の増加に向けた取組を進めています。

移住・定住を促す住宅環境の整備や、移住希望者を対象とした村の生活を体験する機会の創出、子育てや教育に関するサービスの充実に加え、交流・関係人口の拡大を図るため、新たな働き方として注目されているワーケーションの誘致など、さまざまな事業を展開していきます。

事業年度・事業費

令和3年度～
30,000千円



2020年2月に分譲地「ひかり団地」を整備



〈真狩村企画情報課〉

☎0136-45-3613

mail: kikaku@vill.makari.lg.jp

様似町

人口 4,087人(2022.1)
主な観光ポイント
アポイ岳、親子岩ふれ愛ビーチ

■プロジェクト

観光客誘致・人材育成事業

ジオパークガイド養成事業／ジオツアーの実施／情報発信ツールの整備・拡充 など

アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり



ジオツアー



異業種交流会

ジオパークを核とした持続可能なまちづくり

アポイ岳を核心地域とする様似町は「アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク」として、平成27年11月にユネスコ世界ジオパークに認定されました。

ジオパークは、貴重な地質遺産の保全とそれを活かした持続可能なまちづくりを行うことを目的としており、地域資源の啓発やガイド養成、観光まちづくりセミナーや異業種交流会の開催などにより、地域の人材育成に取り組むとともに、ジオツアーの造成や海外プロモーションを通じ、滞在型観光客の増加を図るなど、ジオパークを核とした総合的なまちづくりを実践しています。

事業年度・事業費

平成30年度～



アポイ岳保全事業（ドリームプロジェクト）



〈様似町企画調整課〉

☎0146-36-2122

mail: kikakutyouseika@samani.jp

新ひだか町

人口 21,388人(2022.1)
主な観光ポイント
二十間道路桜並木、三石海浜公園

■プロジェクト
二十間道路桜並木樹勢回復事業
老木の管理／若木の植樹 など

「二十間道路桜並木」の感動の世界へ



北海道遺産「二十間道路桜並木」



若木の植樹

桜並木の計画的な保存・整備

新ひだか町の「二十間道路桜並木」は、幅36メートル（二十間）、長さ7キロメートルを誇り、町のシンボルであるとともに、花見シーズンには全国から多くの観光客が訪れます。しかし、桜の多くは樹齢100年を超え、自然災害による倒木や害虫被害などで本数が減少しており、桜並木全体の抜本的な整備が必要な状況です。

新たな桜の見どころをつくりだし、将来にわたり訪れる皆様に感動していただけるよう、計画的な保存・整備を進めていきます。

事業年度・事業費

平成30年度～
各年度6,000千円



外科処置後の整形



〈新ひだか町総務部まちづくり推進課〉
☎0146-49-0293
mail: keizai@town.shinhidaka.lg.jp

美瑛町

人口 9,636人(2022.1)
主な観光ポイント
白金温泉、丘陵地帯、拓真館

■プロジェクト
美瑛町コ・ワーケーションビ
レッジ構想の推進
多様な人材が集い交わる地域づ
くりの場の創出

関係人口の創出・拡大から ひと・しごとを呼び込む循環づくり



廃校を利用した研修施設



Wi-Fiを完備した丘のまち交流館 b_i_yell

ともに働き、学び、楽しみ、つながることで 美瑛町の未来に貢献

美瑛町では、美しい丘陵景観や豊かな自然環境の中で暮らす魅力に加え、旭川空港から車で約15分という首都圏等からのアクセスの良さを活用して、テレワーク、ワーケーションの受け入れを推進しています。

令和3年度にはテレワーク拠点施設を整備し、町を訪れる多種多様な方々に活動していただく場を提供しています。活動の中での町民との交流等を通し、関係人口の輪を広げ、将来的な雇用の確保、地域産業の活性化に結び付けていきたいと考えています。

事業年度・事業費

令和3～7年度
98,083千円



1棟貸しのテレワーク拠点施設



〈美瑛町まちづくり推進課〉
☎0166-92-4330
mail: machi@town.biei.hokkaido.jp

中富良野町

人口 4,796人(2022.1)
主な観光ポイント
町営ラベンダー園、ファーム富田

観光入込客数の増加や農産物のPR



夏の北星山ラベンダー園



初冬の北星山ラベンダー園
(この後スキー場になります)

夏季集中型の観光から通年型観光へ

中富良野町では、十勝岳連峰の雄大な景観と富良野盆地に広がる田園風景やラベンダー等の観光資源に恵まれ、年間100万人もの観光客が訪れています。

閑散期となる冬季を含め年間を通じてより多くの観光客にお越しいただき、その効果が地元経済へ波及するよう、北星山を核とした新たな観光拠点の整備や、地元産品を活用したご当地グルメや特産品の開発、マスメディア等とのタイアップによるPR事業などを展開していきます。

■プロジェクト

地域に広げる観光の波及効果

新たな観光拠点の整備／ご当地グルメ・特産品の開発／サイクルツーリズムの推進 など

事業年度・事業費

未定

—



〈中富良野町企画課〉

☎0167-44-2123

mail: kikaku@nakafurano.jp

南富良野町

人口 2,363人(2022.1)
主な観光ポイント
かなやま湖、南富良野物産センター

重点「道の駅」や周辺での賑わい創出支援



生まれ変わる道の駅



かなやま湖でのカヌー体験の様子

アウトドア観光拠点と交流促進を目指して

「道の駅南ふらの」は令和2年1月に、国土交通省から重点「道の駅」に選定されました。

これを機に、インバウンドを含めた多様な来訪者に対応した情報発信機能の整備、都市間バス・デマンドバスの交通結節機能の強化、おむつや液体ミルクの備蓄など子育て世代にも安心の防災拠点整備などを進め、体験型アウトドア観光の拠点及び地元と来訪者との交流促進の場として、道の駅本体とその周辺地域の整備を進めていきます。

■プロジェクト

道の駅再編整備事業

インバウンド等多様な顧客への情報発信拠点整備／バス交通との結節機能強化 など

事業年度・事業費

令和2～5年度

—



かなやま湖畔にあるキャンプ場



〈南富良野町企画課企画振興係〉

☎0167-52-2115

mail: kikaku@town.minamifurano.hokkaido.jp

中川町

人口 1,413人(2022.1)
主な観光ポイント
中川町エコミュージアムセンター

中川町地域商社と東京都世田谷区 サテライトスペース連携事業



パンケ山頂MTBコース



冬のMTB体験

森林内や使われなくなった牧場を MTBコースとして再生！

中川町では、町内にDMO機能を有する地域商社を、東京都世田谷区サテライトスペースを設け、都市と山村交流による関係人口の増加や移住の促進を進めています。令和3年～6年にかけて森林内や使われなくなった牧場にMTBコースを設置していきます。

また、北海道大学研究林との間で、「北海道大学中川研究林公認ガイド制度」の創設に取り組んでおり、エコモビリティ推進事業と連携した産業、雇用創出や関係人口の増加を目指します。

■プロジェクト

中川町地域商社と東京都世田谷区 サテライトスペース連携事業 (MTBコースの開発)

使われなくなった牧場にMTB
コースの設置

事業年度・事業費

令和2～6年度

220,090千円



天塩川カヌー体験



〈中川町産業振興課産業振興室〉

☎01656-7-2816

mail: nakagawasangyo

@town.nakagawa.hokkaido.jp

利尻町

人口 1,931人(2022.1)
主な観光ポイント
利尻礼文サロベツ国立公園

廃校を活用した関係人口の拡大



閉校した旧利尻町立脊形中学校校舎



「ツギノバ」外観

「暮らしやすい町・暮らしてみたい町」へ向けて

利尻町では、移住者の受入環境を整えるため、閉校した中学校校舎を「利尻町定住移住支援センターツギノバ」として整備し、定住移住相談の受付や、町の暮らしにまつわる情報発信等を行っています。

今後は、地域の方が地元食材を使った新商品を開発し、仕入れから販売までをお試しで実施する「チャレンジキッチン・チャレンジショップ」や町内唯一となる託児所を施設内に開設するなど、「暮らしやすい町・暮らしてみたい町」の実現に向けて、定住移住支援センターの機能拡充を図ります。

■プロジェクト

関係人口推進拠点整備事業

定住移住支援センターの機能拡
充(チャレンジキッチン・チャレ
レンジショップ及び託児所の整備)

事業年度・事業費

令和元～4年度

42,324千円



「ツギノバ」館内



〈利尻町総務課〉

☎0163-84-2345

mail: kikaku@town.rishiri.

hokkaido.jp

利尻富士町

人口 2,333人(2022.1)
主な観光ポイント
利尻礼文サロベツ国立公園

関係人口拡大、移住・定住促進事業



町内初の民間賃貸住宅



移住・定住促進住宅（町営）

移住・定住需要の増加を見据えた取組の拡充

利尻富士町では、移住・定住の促進に向け、当該分野に関わる地域おこし協力隊の採用や、住宅整備などを進めており、近年は、リゾートバイトやモニターツアーを通して、島での生活を体験した若者が、そのまま移住を希望する例も見られています。

全国的にリモートワークやワーケーションが普及している状況を踏まえると、今後も移住の需要は増えることが予想されるため、U・I・J ターンを含めた移住希望者を対象としたポータルサイトの開設や、利尻富士町ワーケーション・お試し暮らし事業の展開などにより取組の拡充を図りたいと思いますので、企業の皆様のご支援をお待ちしております。

■プロジェクト

移住・定住促進事業

移住・定住ポータルサイトの設立・運営／移住後のコミュニティづくりのサポート／移住・定住促進住宅の整備

事業年度・事業費

平成30年度～
192,600千円



利尻富士町ワーケーション事業



〈利尻富士町企画政策課〉

☎0163-82-2850

mail : kikaku@town.rishirifuji.hokkaido.jp

西興部村

人口 1,033人(2022.1)
主な観光ポイント
森林公園、森の美術館「木夢」

日本最北のバッティングセンターがある「森林公園リニューアル事業」



公園内で行うイベントの様子



公園内にあるキャンプ場

～たくさんの人々が集う場所を目指して～

バッティングセンターが全国で各地で消えゆく中、日本最北に位置する施設が森林公園にあり、全国大会に出場した地元中学生をはじめ、遠方から野球少年や腕に覚えのある年配の方もバットを振りに訪れます。

昭和53年に開設した森林公園には、家族連れやライダーなど多くの人々が利用するキャンプ場や小さな子ども遊べる遊具などありますが、いずれも老朽化していることから、全面的なリニューアルを行います。

交流人口の増加やスポーツの振興、子どもたちの健全育成のため、企業の皆様のご支援をお待ちしております。

■プロジェクト

森林公園リニューアル事業

バッティングセンター、キャンプ場、遊具など、森林公園の大規模改修

事業年度・事業費

令和4～5年度
250,000千円



バーチャル型に生まれ変わる日本最北のバッティングセンター



〈西興部村地域総合戦略室〉

☎0158-87-2111

mail : ni.kikaku@vill.nishiokoppe.lg.jp

広尾町

人口 6,359人(2022.1)
主な観光ポイント
大丸山森林公園、サンタの家

■プロジェクト サンタの「杜」・「森」創造事業

広尾サンタランドウッドプロジェクト/集いの杜プロジェクト など

事業年度・事業費

令和4年度

7,900千円



旧野塚小学校での整備作業の様子

サンタの森を活用し、 林業振興・交流人口の拡大をめざす！



町産木材のウッドイルミネーション



旧野塚小学校

町産木材のブランド化と廃校再生に向けて

広尾町の約8割を覆う豊かな森林「サンタの森」を活用した二つの事業を展開します。「広尾サンタランドウッドプロジェクト」では、町産木材のブランド「広尾サンタランドウッド」の利用促進や価値向上、ゼロカーボンの実現に取り組めます。「集いの杜プロジェクト」では、廃校となった小学校を、広尾町ならではの体験活動やワーケーション等ができる複合施設へと整備し、笑顔・魅力・やりがいが集まる場所に再生します。

本町の取組を応援していただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております。



〈広尾町企画課企画防災係〉

☎01558-2-0184

mail: k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

広尾町

人口 6,359人(2022.1)
主な観光ポイント
大丸山森林公園、サンタの家

■プロジェクト サンタランドの魅力向上プロジェクト

イルミネーション設置・購入事業
/サンタランド点灯式プロモーション事業 など

事業年度・事業費

令和4年度

28,714千円



観光案内所「サンタの家」の店内

広尾サンタランドの魅力を発信、 関係人口の増加をめざす！



大丸山森林公園のイルミネーション



イルミネーション点灯式の様子

夢とロマンあふれる、まち全体がサンタランド

広尾町は、サンタの故郷ノルウェーオスロ市から認められた、日本で唯一の「サンタランド」です。この「唯一」であることの価値を町民が再認識し、町外から来る人も町民も、あらゆる人が楽しむことができるよう、まちぐるみで「サンタランド」の魅力に磨きをかけます。

本町の取組を応援していただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております。



〈広尾町企画課企画防災係〉

☎01558-2-0184

mail: k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

標茶町

人口 7,287人(2022.1)
主な観光ポイント
釧路湿原、多和平

■プロジェクト

釧路湿原国立公園茅沼地区観光宿泊施設エリア上質化事業

宿泊施設のリノベーション/
周辺施設の環境整備

観光情報と環境保全啓発の発信拠点再整備による交流人口の拡大と上質な滞在環境の創出



完成イメージパース図



左から、原研哉氏、隈研吾氏、佐藤町長

上質な滞在環境の創出

釧路湿原国立公園内にある唯一の宿泊施設が経営破綻により休業状態となっていることから、建築家隈研吾氏の設計とデザイナー原研哉氏のデザインにより、アドベチャーターリズムやインバウンドに対応できる魅力ある観光施設として再生します。

周辺のキャンプ場や遊歩道等を活用した野生生物観察などの自然体験アクティビティとも連携した形での魅力ある宿泊体験・自然体験を提供し、国立公園らしい上質な滞在環境を創出し、交流人口の拡大と町の活性化を目指します。

事業年度・事業費

令和3～6年度



シラルトロ湖の夕日



〈標茶町企画財政課企画調整係〉

☎015-485-2111

mail : k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

南幌町

人口 7,378人(2022.1)

主な観光ポイント
南幌温泉ハート&ハート

子ども達の遊びの拠点整備と エリアマネジメント



子ども室内遊戯施設を中心とした街並み



施設の外観イメージ

「なんぼろライフ」の実現に向けた地方創生

子ども達が「いつでも安心して遊べる」場として、「遊戯エリア」「交流エリア」「体験エリア」の3エリアで構成する子ども室内遊戯施設を都市公園内に整備します。

施設の整備に合わせて、公園内の大型遊具やベンチ等のリニューアルを実施するほか、施設と公園を中心とした一帯の賑わい創出に向け、エリアマネジメント協議会を設置し、将来のまちづくりを担う組織への発展を目指します。

「“まち”と“人”、“公園”を育てる交流拠点」をコンセプトに、たくさんの人に親しまれるエリアを目指し、整備を行います。

■プロジェクト

子ども室内遊戯施設整備事業

子育て環境の整備と地域活性化を図るため、エリアマネジメントと連動した施設の整備

事業年度・事業費

令和4年度～



遊戯エリアのイメージ



〈南幌町まちづくり課企画情報グループ〉

☎011-398-7019

mail: g-kikaku@town.nanporo.lg.jp

恵庭市

人口 70,108人(2022.1)

主な観光ポイント
花の拠点 はなふる

アプリを使ったつながるまちづくり



公式ポータルアプリ えにわっか



花の拠点 はなふる

異なる分野をつなげる一体的な施策展開

恵庭市では公式ポータルアプリを開発し、

① 観光、② 市民生活、③ 経済、④ まちづくり、4つの異なる施策をつなげ、楽しみながら歩く工夫により、効果的な健康増進に取り組み、持続可能なまちづくりを目指しています。

- 通年で全世代が参加できる仕組みによる体力・健康増進
- 歩く環境の更なる充実、自転車活用による環境負荷低減
- マイクロツーリズムによる地域経済循環の創出
- 交流人口、関係人口の増加による更なる魅力の拡充

■プロジェクト

恵庭らしさを活かした 魅力あるまちづくり

新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

事業年度・事業費

令和3～5年度

900,000千円



公式ポータルアプリ ロゴ



〈恵庭市企画課企業版ふるさと納税担当〉

☎0123-33-3131

mail: kikaku@city.eniwa.hokkaido.jp

当別町

人口 15,445人(2022.1)
主な観光ポイント
スウェーデンヒルズ、道民の森

ロイズタウン駅を中心としたまちの新たな周遊空間の創造



ロイズタウン駅



駅前広場イメージ

新駅を活かしたまちの魅力発信拠点へ

大手チョコレート製造メーカーである(株)ロイズコンフェクトの集客機能を兼ね備えた工場の増設を契機に、(株)ロイズコンフェクトと当別町がJR北海道に対し申請した新駅【ロイズタウン駅】が令和4年3月に開業しました。

ロイズタウン駅を中心に、ロイズコンフェクトふと美工場、道の駅、いちご観光農園、温泉施設など周遊性を向上させ、当別町魅力を発信するとともに、交流人口の増加を狙うほか、周辺農地を活用した農業と観光を調和させたまちづくりなどの取組を公民連携で推進していきたいと考えています。

■プロジェクト

新しいまちの顔づくりプロジェクト

新駅の設置/駅前広場整備/農業テーマパークなどの誘致/スマート農業の推進/自動走行運転の実証/5G環境の整備/歩行空間の整備

事業年度・事業費

令和2年度～未定
1,590,000千円



5G活用イメージ



〈当別町企画部事業推進課事業推進係〉

☎0133-23-3198

mail : toshikei

@town.tobetsu.hokkaido.jp

黒松内町

人口 2,690人(2022.1)
主な観光ポイント
歌オブナ林、黒松内温泉「ぶなの森」

訪れたくなるまちをつくる



道央と道南を結ぶ交通拠点でもある道の駅くろまつない



大人気のドイツパン風ピザ

まちの顔となる「道の駅」のリニューアル

黒松内町の観光の拠点施設である「特産物展示販売施設道の駅くろまつない トワ・ヴェールII」は開館から20年余りが経過し、手作りパンやピザなどここでしか味わえないオリジナルの特産品が大好評です。

しかし、施設の老朽化が進んでいることや、コロナ禍におけるニューノーマルを踏まえた新たな対応が求められていることから、全面的なリニューアルを行い、これまで以上に観光客や地域住民が集まり交流人口が拡大し、町の活性化に寄与する施設として整備します。

■プロジェクト

ブナ里ビレッジプライドプロジェクト

道の駅くろまつないの大規模改修 など

事業年度・事業費

未定



黒松内町の農村の風景



〈黒松内町企画環境課〉

☎0136-72-3376

mail : kikaku

@town.kuromatsunai.hokkaido.jp

安平町

人口 7,394人(2022.1)
主な観光ポイント
鶴の湯温泉、鹿公園、鉄道資料館

■プロジェクト

未来へつながる
復興まちづくりプロジェクト

早来中学校再建事業

北海道胆振東部地震で被災した早来中学校の再建により教育とコミュニティを再生



新たな学校の外観イメージ



新たな学校の校舎内イメージ

今なお続く仮設校舎での学校生活

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により、被災した早来中学校校舎は現在使用できないことから、生徒たちは今もなお、仮設校舎での学校生活を余儀なくされています。

子どもたちの未来に向けて、また、復興のシンボルとして、令和5年度には新たに小中一体型の学校を開校し、社会のグローバル化に対応した英語教育環境やICT環境の充実化、さらには多様性を育む環境づくりを行いながら、地域に開かれた学校づくりに取り組むこととしています。

事業年度・事業費

令和3～5年度

3,432,287千円



早来中学校仮設校舎



〈安平町政策推進課〉

☎0145-22-2751

mail: k-yuuchi@town.abira.lg.jp

長沼町

人口 10,336人(2022.1)
主な観光ポイント
道の駅「マオイの丘公園」

■プロジェクト

舞鶴遊水地周辺を活用した
交流拠点づくり
田園と自然の共生施設整備

タンチョウも住めるまちづくり



舞鶴遊水地で繁殖したタンチョウ親子 長沼舞鶴小学校（令和2年3月閉校）
（提供：タンチョウも住めるまちづくり検討協議会）



タンチョウが繁殖した遊水地や小学校跡地を活用した拠点づくり

長沼町はかつて沼や湿原が広がり、タンチョウの繁殖地として知られていました。「環境保全」と「産業振興」の両立を目指して、平成28年度から「タンチョウも住めるまちづくり」を開始し、令和2年、町内の治水施設・舞鶴遊水地でタンチョウの雛が100年以上ぶりに誕生しました。

タンチョウの保護と主要産業である農業との共生、持続可能な観光を実現するため、舞鶴遊水地を核に近隣の長沼舞鶴小学校跡地（令和2年3月閉校）等を活用した「田園と自然の共生拠点」整備構想を検討しています。

事業年度・事業費

未定



舞鶴遊水地の自然を活用した環境学習
（奥の建物は観察施設「鳥の駅マオイトー」）



〈長沼町政策推進課〉

☎0123-76-8016

mail: seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp

栗山町

人口 11,308人(2022.1)
主な観光ポイント
いきものの里オオムラサキ館

■プロジェクト

自然環境の保全・再生活動
への支援

ハサンベツ里山の整備、自然
体験教育の充実

ハサンベツ里山の保全活動事業



薪づくり体験



田植え体験

豊かな自然と子どもの笑顔を次世代に

市街地に隣接した栗山町ハサンベツ地区一帯は、約20年の歳月をかけ「人と自然との共生」をテーマとした自然体験教育フィールドに再生しました。

これまでに、ホタル・トンボ水路の整備や、子ども達が遊べる小川や体験田んぼの造成、ハサンベツ川の環境再生など町民主体の里山計画を実践しており、現在子ども達がこの環境を活用した自然体験教育を行っています。

今後もこの豊かな自然環境と子ども達の笑顔を次世代へ残し続けるため、保全活動事業を進めていきます。

事業年度・事業費

令和2年度～



自然体験教育



〈栗山町教育委員会社会教育課〉

☎0123-72-1117

mail: syakaikyouiku-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

北海道遺産「ふきだし湧水」を守る



ふきだし公園湧水口



ふきだし公園下池（逆さ羊蹄）

事業年度・事業費

令和2年度～

—



ふきだし公園内のリス

羊蹄山が育む豊かな水資源

蝦夷富士「羊蹄山」に降った雪や雨が長い年月をかけて濾過され流れ出る「京極のふきだし湧水」は、1日に約8万トン、30万人の生活水に匹敵する湧水量を誇る国内最大級の湧水であり、おいしい水を求めて多くの人を訪れます。

北海道遺産や名水百選にも選ばれている、この自然の恵みを次の世代に残していくため、「ふきだし湧水」の保全と活用を目的として、水源地周辺の植樹や隣接するふきだし公園施設などの環境整備を進めています。



〈京極町企画振興課〉

☎0136-42-2111

mail : kikaku@town-kyogoku.jp

美唄市

人口 20,001人(2022.1)
主な観光ポイント
宮島沼、アルテピアッツァ美唄

ベースボールを核とした地域活性化



美唄ブラックダイヤモンドズ



清掃ボランティア活動

美唄からNPBへ！若者の夢を応援！！

北海道初の野球独立リーグの立ち上げ当初から、美唄市に本拠地を置く球団「美唄ブラックダイヤモンドズ」。

野球や地域活動等を通じ、労働力不足の解消や交流人口の増加、関係人口の創出、コミュニティの形成、シビックプライドの醸成など地域に大きな活力をもたらしています。

本プロジェクトで集まった寄附は、球場等の環境整備、スポーツを通じたこどもの育成・地域の振興、交流人口・関係人口拡大事業など、地域活性化に向けた取組に広く活用します。

■プロジェクト

美唄ブラックダイヤモンドズ 応援プロジェクト

球場等の環境整備／スポーツを通じたこどもの育成／交流人口・関係人口拡大 など

事業年度・事業費

令和4年度



市内の子供たちと交流



〈美唄市美唄デザイン課デザイン係〉
☎0126-62-3137
mail: kikaku@city.bibai.lg.jp

深川市

人口 19,658人(2022.1)
主な観光ポイント
道の駅ライスランドふかがわ

「スポーツ」がもたらす効果でコロナ禍 や人口減少に負けないまちづくり



ホクレン・ディスタンスチャレンジ深川大会



エフパシオのトレーニング室

スポーツを核とした地域活性化を目指して

深川市では、冷涼な気候と市内のスポーツ施設を活用し、陸上競技を中心とするスポーツ合宿招致を重要施策として取り組んでいます。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、数多くの合宿やスポーツイベントのキャンセルが相次ぎ、飲食・旅館業などでも深刻な影響を受けています。

このようなコロナの影響のほか、人口減少に負けない強いまちづくりを目指して、スポーツに関連する4つの柱を軸に、各種施策に取り組めます。

■プロジェクト

「北のスポーツ都市ふかがわ」によるスポーツを核とした地域活性化プロジェクト

事業年度・事業費

令和4～6年度
15,000千円

▼スポーツを通じた4つの柱

★自ら行うスポーツ
市民参加型の「運動きっかけ教室」などの開催

★呼び込むスポーツ
イベントの開催や合宿招致促進

★携わるスポーツ
指導者養成講習会などの人材育成

★育てるスポーツ
スポーツを通じた次世代人材育成



〈深川市企画総務部企画財政課企画係〉
☎0164-26-2246
mail: kikaku@city.fukagawa.lg.jp

北広島市

人口 57,767人(2022.1)
主な観光ポイント
エルフィンロード、旧島松駅通所

ボールパーク構想と連携した 新たな価値の創造



スタジアムパース



スタジアム

北で広がる夢がある

北広島市では、2018年10月に北海道日本ハムファイターズのボールパーク建設地として決定され、2023年3月の開業に向けた整備が進められています。

本市にとって、このボールパークと連携したまちづくりを行うことは、究極の地方創生と捉えており、ボールパーク構想と最大限連動させた人口減少対策、交流人口拡大対策に取り組むことで、地域の活力の創出を目指しています。

■プロジェクト

ボールパーク構想と連携した まちづくり

人口減少対策・交流人口拡大対策

事業年度・事業費

令和元～5年度
139,698千円



〈北広島市企画財政部企画課〉

☎011-372-3311

mail: kikaku@city.kitahiroshima.lg.jp

浦河町

人口 11,720人(2022.1)
主な観光ポイント
JRA日高育成牧場

浦河町出身 田中光敏監督による 映画製作の実現



浦河町出身 田中光敏監督



1950年代の砂漠化したえりも岬

先人が残した日本人のあるべき姿を未来へ

浦河町では、様似町、えりも町及び広尾町と連携して浦河町出身の田中光敏監督によるえりも岬の緑化事業を題材とした映画化の実現に向けて取り進めております。

これは、1950年代に森林伐採で砂漠化した荒れ地に地元漁師らが木を植え続け、豊かな森と海をよみがえらせた史実です。

日本の先人が残した自分たちの魂、日本人のあるべき姿を未来へ伝え残すため、映画製作の実現に向けて皆様のご協力をお願いします。

■プロジェクト

「北の流水(仮題)」映画製作 応援プロジェクト

事業年度・事業費

令和2～5年度
350,000千円



蘇った森と海



〈浦河町商工観光課〉

☎0146-26-9014

mail: kanko@town.urakawahokkaido.jp

名寄市

人口 26,663人(2022.1)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

冬季スポーツ拠点化プロジェクト



クロスカントリースキー合宿



ガーリングジュニアキャンプ

冬季スポーツ拠点化とジュニア世代の育成強化

名寄市では、スポーツを通じて子どもたちの「生きる」を育む環境づくりを進めるとともに、スポーツによる市民の健康づくりや交流人口拡大・地域経済活性化を図り、スポーツによる幅広い地域振興を推進しています。

本プロジェクトは産官学連携組織のNスポーツコミッションを中心として、世界的にも価値が高まっている天然雪などの自然環境や集約された冬季スポーツの施設環境の強みを生かして、合宿・大会誘致や子どもたちの体力・競技力向上を推進するとともに、冬季スポーツを通じて故郷への誇りと愛着を持てる人づくりに取り組んでいます。

■プロジェクト

冬季スポーツ拠点化プロジェクト

全道・全国規模の大会開催／ジュニア世代を対象としたトレーニング・教育プログラムの提供 など

事業年度・事業費

令和2年度～



名寄市ピヤシリジャンツェ



〈名寄市スポーツ・合宿推進課〉

☎01654-2-2218

mail: ny-sport@city.nayoro.lg.jp

東川町

人口 8,390人(2022.1)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉

アイヌ文化とアイヌの誇りを国内外に



東川町収蔵作品より



東川町収蔵作品より

アイヌに誇りを与えた少女「知里幸恵」

差別の中にも夢と希望を持ち続けた知里幸恵氏の姿は多くの人に感動を与え、2022年没後100年を迎えることから、金田一京助氏とアイヌの口承文化を後世に伝えることに青春をかけた一人のアイヌ少女知里幸恵氏の短い一生を描いた映画を通じて、アイヌ文化を広く国内外へ紹介していきます。

アイヌ文化とアイヌの誇りを広く国内外へPRするとともに、文字を持たないアイヌ文化の伝承と暮らしを映画化し、次代を担う子どもたちなどに知ってもらい、人々の動きを復活させ、地域活力向上に資するように取り組んでいます。

■プロジェクト

アイヌ民族の文化と生活を題材とした映画「カムイのうた」製作事業

事業年度・事業費

令和2～6年度

250,000千円



東川賞受賞作品シリーズより



〈東川町東川スタイル課〉

☎0166-82-2111

mail: brand@town.higashikawa.lg.jp

東川町

人口 8,390人(2022.1)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉

世界中の写真と出会い、世界中の人々がふれあい、
世界中が笑顔に溢れる写真文化首都

写真甲子園



国際写真フェスティバル

■プロジェクト
写真文化首都「写真の町」
プロジェクト

写真甲子園の開催／写真文化
アーカイブス事業 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



写真の町宣言

写真文化首都の創造を目指して

1985年に「写真の町」を宣言し、写真文化を通じて潤いと活力のある町づくりに取り組み、写真文化と世界中の人々を繋ぐ「写真文化首都」の創造を目指しています。

現在、日本は過疎・過密の二極化が進行している中、写真文化の首都として地方から世界へ写真文化を発信するために「写真甲子園」をはじめとした写真の町に関わる事業や写真文化のアーカイブスなどの取組を行い、写真文化首都を推進します。



〈東川町東川スタイル課〉

☎0166-82-2111

mail: brand@town.higashikawa.lg.jp

上富良野町

人口 10,342人(2022.1)
主な観光ポイント
土の博物館「土の館」

活火山の恵みと脅威を活力に

～「十勝岳」魅力再発見プロジェクト～

北海道を代表する秀峰であり、数多くの恵みと時に大きな災いをもたらす町のシンボル、十勝岳。上富良野町では、国内外から多くの観光客を呼び込む不動のコンテンツとして十勝連峰の魅力を最大限に活かしてまいります。

代表的な取組として、活火山である十勝岳がかつて上富良野に惨劇をもたらした噴火泥流災害にまつわる実話を基に、昭和文壇を代表する作家・三浦綾子が著した小説『泥流地帯』の実写映画化を目指しています。

大規模自然災害が頻発する昨今、96年前に「全滅」と言われながらも奇跡と称される復興を果たした上富良野開拓民の物語を、企業の皆様とともに全国のスクリーンにお届けできるよう、ご支援をお待ちしています。

※詳しくは当プロジェクトPRページをご覧ください。

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/index.php?id=2137>

■プロジェクト
三浦綾子『泥流地帯』映画化
プロジェクト

二度にわたる噴火災害の実話を
元にした映画の製作・全国のス
クリーンへ届けるための支援

事業年度・事業費

平成29年度～

80,000千円



三浦綾子『泥流地帯』映画化プロジェクト



〈上富良野町企画商工観光課〉

☎0167-45-6983

mail: shouko@town.kamifurano.lg.jp

北見市

人口 114,326人(2022.1)
主な観光ポイント
ハッカ記念館、ピアソン記念館

トップアスリートのニーズに対応する 先導的なカーリングホールの活用



アルゴグラフィックス北見カーリングホール



最先端の競技力向上支援システム

合宿関連産業への経済波及効果を期待

北見市では、地域資源であるカーリングを活用した地方創生を推進しています。令和2年10月には、北見工業大学の最先端スポーツ科学研究を実用化した高度な競技力向上支援機能を有する先導的な施設「アルゴグラフィックス北見カーリングホール」がオープンしました。

当施設を活用し、合宿誘致や体験型観光、オリンピックで銅メダルを獲得した女子チーム「ロコ・ソラーレ」の後進となる人材の育成、国内外大会の開催、小中学校の授業での活用など、カーリングの持続的発展と地域の活性化に向けて様々な取組を進めていきます。

■プロジェクト

地域資源カーリングを活かした 交流人口拡大プロジェクト

合宿誘致／国内外大会の開催／
人材育成 など

事業年度・事業費

令和2年度～



カーリングのまち北見市



〈北見市企画財政部企画政策課〉

☎0157-25-1103

mail: kikaku@city.kitami.lg.jp

遠軽町

人口 18,956人(2022.1)
主な観光ポイント
瞰望岩、太陽の丘えんがる公園

10トンディーゼル機関車に再び汽笛を



10トンディーゼル機関車搬入



森林鉄道蒸気機関車雨宮21号

全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」に向けて

国内で唯一動態保存されている森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」は「木のまち」遠軽町の象徴として、住民運動によりスクラップを免れた貴重な産業遺産です。

町ではこの「雨宮21号」を中心に全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」を目指しており、このたび新たに、昭和31年製造の10トンディーゼル機関車を復元するロマンあふれるプロジェクトを実施しています。

■プロジェクト

ロマンあふれる「森林鉄道の聖地」10トンディーゼル機関車動態復元等整備プロジェクト

10トンディーゼル機関車の復元

事業年度・事業費

未定

2,100千円



雨宮21号が走行するいこいの森キャンプ場



〈遠軽町総務部企画課〉

☎0158-42-4818

mail: kikaku@engaru.jp

■「10トンディーゼル機関車」製造年：昭和31年／製造会社：協三工業（福島県福島市）

- | | |
|------------|-------------------|
| 昭和31～昭和35年 | 北海道濁川森林鉄道（滝上町） |
| 昭和36～昭和40年 | 長野県王滝森林鉄道（長野県上松町） |
| 昭和51～平成30年 | 愛知県瀬戸市自然休養林 |
| | 〈動態保存〉 |
| 平成30年10月～ | 遠軽町丸瀬布森林公園いこいの森入線 |

釧路市

人口 163,110人(2022.1)

主な観光ポイント

釧路湿原、和商市場、阿寒湖

プロスポーツチームへの支援により スポーツ振興を



ひがし北海道クレインズの試合



小学校でのあいさつ運動の様子

スポーツの力で交流人口拡大を目指す

釧路市に拠点を置いて活動するプロスポーツチーム「ひがし北海道クレインズ」に対し、地域の活性化に寄与することを目的として、運営を支援いたします。

支援を受ける「ひがし北海道クレインズ」によるホームゲームの開催等により、交流人口の拡大や地域の魅力発信などが期待され、市内はもとより市外からも新たなファンを掘り起こし、スポーツ振興・地域活性化を推進します。

また、コロナ禍において当該プロスポーツチームが活動し続けることにより、市民に元気と勇気を与え、子どもたちの憧れや夢の醸成にもつながることが期待されます。

■プロジェクト

プロスポーツ支援事業

市内に拠点を置くプロスポーツチームへの支援

事業年度・事業費

令和4年度～

※事業費は未定



ひがし北海道クレインズ 全日本選手権2連覇



〈釧路市スポーツ課〉

☎0154-31-2600

mail: su-sport@city.kushiro.lg.jp

釧路町

人口 19,152人(2022.1)

主な観光ポイント

細岡展望台、キトウシ野営場

トップアスリートとの持続可能な交流 を実現



J SOMPO BALL GAME FESTA in 釧路町



©デンソーアイリス
本川紗奈生選手

スポーツの力で子供の心に残る体験を創出

釧路町では「スポーツによるまちづくり＝スポーツによる人づくり」をテーマに、アスリートによるスポーツ教室を通じて子ども達に夢と希望を与える取り組みに力を入れています。

しかし、体育館の経年劣化とあわせ、コロナ禍によりスポーツへの関心の低下や運動する機会が減少しています。

このことから、釧路町総合体育館の床面改修を行い、釧路町出身である本川紗奈生選手による「バスケットボールクリニック」を開催することで、スポーツを通じた仲間づくりや絆を深める活動を推進していきます。

■プロジェクト

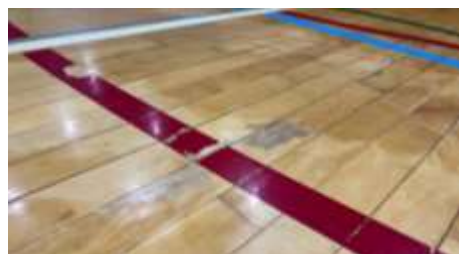
スポーツの力で元気なまちづくりを推進プロジェクト

体育館の床面改修／人材育成など

事業年度・事業費

令和3年度～

19,254千円



釧路町総合体育館の経年劣化した床



〈釧路町ふるさと納税推進室〉

☎0154-62-2310

mail: furusato@town.kushiro.lg.jp

白糠町

人口 7,391人(2022.1)
主な観光ポイント
道の駅「しらぬか恋間」、岬の森東山公園

「ウレシバ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト



白糠アイヌ協会天内会長とプロジェクト
ロゴ

「カムイノミ」の様子

アイヌ民族をテーマにした映画制作

先住者であるアイヌの人々によって白糠町の礎が築かれた歴史的な経過・背景を踏まえ、まち全体がイオル（伝統的生活空間）であるという認識のもと、ウレシバの意識でまちづくりを進めてきました。

国内外においてアイヌ文化の復興・創造に向けた機運が高まっている中、本町を拠点にアイヌ民族をテーマにした映画制作が決定したことから、全町を挙げて支援・協力を行うとともに、作品や撮影終了後のセットなどを新たな観光資源として広く発信し、持続的な交流人口・関係人口の創出・拡大と地域の活性化を図ります。

■プロジェクト

「ウレシバ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト

アイヌ民族をテーマにした映画制作に対する支援・協力及び新たな観光資源としての活用

事業年度・事業費

令和2～5年度

500,000千円



〈白糠町企画総務部企画財政課〉

☎01547-2-2171

mail : kikakuchosei

@town.shiranuka.lg.jp

芦別市

人口 12,430人(2022.1)
主な観光ポイント
道の駅「スタープラザ芦別」

子ども一人ひとりのニーズに合わせた 特別支援教育の推進



特別支援学級での指導



特別支援学級での指導

児童生徒に対し、きめ細やかな支援を

芦別市では、通常の学級における困り感やつまずき感のある児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行うため、全ての小中学校に学習支援員を配置しているほか、特別支援学級の児童生徒の学習や生活の補助をするため特別支援学級補助員を配置しています。

また、教育をはじめ、児童生徒に関わる関係者を対象として、特別支援教育の研修会を開催するなど、知識や専門性を高める取組を行っています。

■プロジェクト 特別支援教育推進プロジェクト

学習支援員、特別支援学級補助員の配置 など

事業年度・事業費

令和4年度～

18,000千円



通常学級との交流



〈芦別市企画政策課まちづくり推進係〉

☎0124-27-7061

mail: kikaku@city.ashibetsu.hokkaido.jp

倶知安町

人口 14,789人(2022.1)
主な観光ポイント
羊蹄山、ニセコアンヌプリ

くっちゃんで暮らす幸せを感じる ための事業



お楽しみ会（町立保育所ぬくぬく）



雪ん子の集い（認定こども園）

待機児童ゼロと日曜・祝日保育等の実施に向けて

国際リゾートニセコエリアの中心地である倶知安町は、観光業等のサービス業に携わる若い世代が多く、子どもを産みたい、育てたいと思える環境づくりを進めています。

待機児童ゼロ、一時預かりや延長保育、日曜・祝日保育実施のため、町立保育所と3つの私立認定こども園が連携し、保育士・保育教諭への一時金給付、奨学金返還支援、くっちゃんの魅力・特徴を活かしたPR事業などに取り組み、保育士・保育教諭確保を目指します。

■プロジェクト くっちゃんで先生になろう！ ～保育士・保育教諭等確保事業～

保育士・保育教諭への一時金給付/奨学金返還支援/PR・募集パンフレット作成 など

事業年度・事業費

令和3～6年度



国際リゾート「ニセコヒラフ」



〈倶知安町総合政策課総合政策係〉

☎0136-56-8001

mail: sousei@town.kutchan.lg.jp

仁木町

人口 3,165人(2022.1)
主な観光ポイント
観光果樹園

■プロジェクト

多目的拠点施設整備事業

「NIKI交流プラザ（仮称）」の
建設・運営

事業年度・事業費

未定

—



子育て支援拠点施設イメージ図



特産品のさくらんぼ



「農村公園フルーツパークにき」
から見た仁木町の風景

子育て世帯を中心に活用しやすい施設を整備

より効果的に地方創生を推進していくため、令和5年度
供用開始予定である「子育て支援拠点施設」に隣接する形
で新たに「多目的拠点施設（NIKI交流プラザ（仮称）」）
の整備を予定しています。

子育て世帯が安心して仕事ができるよう、テレワークに
特化したコワーキングスペースの導入をはじめ、気軽に立
ち寄れるカフェ、商工団体や金融機関などの経済拠点を一
箇所複合することで、幅広い世代の地域住民が集う交流
の場となり、リビングシフトに対応したさまざまな働き方
を提供する施設を目指しています。



〈仁木町企画課未来創生係〉

☎0135-32-3953

mail: kikaku02-niki@town.niki.hokkaido.jp

増毛町

人口 3,964人(2022.1)
主な観光ポイント
旧商家丸一本間家

■プロジェクト

高血圧ゼロのまちプロジェクト

健康診断の推進/運動施設の維
持管理/減塩の普及 など

事業年度・事業費

令和2～6年度

各年度20,000千円



高血圧ゼロのまちを目指します！



イベントでの血圧相談



子ども達への減塩教室

高血圧を予防し健康寿命を延伸

増毛町が実施する「高血圧ゼロのまちプロジェクト」は、
日本高血圧学会が実施する高血圧ゼロのまちモデルタウン
事業の第1号として認定されています。

貸出用の血圧計の整備や運動施設の維持管理など、血圧
対策を多くの町民に拡充し、健診、血圧測定、運動、減塩
を習慣化させることで健康寿命を延ばし、生涯現役（高齢
者の収入増加と就労促進）と社会保障の安定（医療費、介
護費の適正化）を目指します。



〈増毛町福祉厚生課保健指導係〉

☎0164-53-3111

mail: fukusi@town.mashike.hokkaido.jp

初山別村

人口 1,113人(2022.1)
主な観光ポイント
みさき台公園

住民との協働によるデマンド型車両運行の推進



車両（しょさまる号）



初山別診療所

地域公共交通対策事業

初山別村では、買い物や通院等で交通手段を持たない65歳以上の高齢者に対し、地域住民の方々にボランティアドライバーとしてご協力いただきながら、住民との協働による地域公共交通の仕組みを構築し、令和3年4月よりデマンド型車両運行として、初山別村社会福祉協議会と共に高齢者の皆さんの移動のお手伝いをしています。

本村の取組を応援していただける企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。

■プロジェクト

定住・移住促進、生活環境プロジェクト

交通弱者対策「地域公共交通対策事業」

事業年度・事業費

令和4年度

7,226千円



みさき台公園



<初山別村役場企画振興室>

☎0164-67-2211

mail:soumu.kikaku

@ vill.shosanbetsu.lg.jp

中頓別町

人口 1,637人(2022.1)
主な観光ポイント
鍾乳洞、敏音知岳

新たな交通手段により誰もが安心して暮らせる町へ



しばざくら



ピンネシリ岳

デマンドバスとスクールバスで利用しやすく

中頓別町では、路線バスが一日に3.5往復運行していますが、人口減少による利用者数の減少等に伴う財政的負担が年々増加しています。しかしながら、通勤通学はもとより買い物や通院の交通手段であるバスは、町民が生活していく上で欠かすことができません。

こうしたことから、本町では、従来の路線バスに代わり、予約制であるデマンドバス及びスクールバスを運行することにより、町民のニーズに応じた弾力的な運用を行い、利用しやすい交通手段を維持し、誰もが暮らしやすいまちを目指します。

■プロジェクト

地域公共交通確保対策プロジェクト

デマンドバス及びスクールバスの運行、車両及び車庫整備

事業年度・事業費

令和4年度～

運行経費：各年度32,000千円

車両及び車庫整備：66,000千円



鍾乳洞



<中頓別町総務課政策経営室>

☎01634-8-7671

mail:kikaku@town.nakatombetsu.lg.jp

釧路市

人 口 163,110人(2022.1)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場、阿寒湖

安心して子どもを生み育てられる環境づくり



園内で遊ぶ子どもたち（阿寒幼稚園）



乳幼児対象の遊び場（ちびっこマンデー）

子育て世帯が働きやすい環境を整備

釧路市では、共働き世帯の増加や勤労意欲を持つ母親が増加している状況であり、定期的に利用可能な教育・保育施設などの受け皿確保が必要です。

少子化やそれに伴う子どもを取り巻く家庭・社会環境の変化の中で、子どもの成長にしっかりと向き合いながら、質の高い教育・保育や子育て支援の安定的な提供に向け、保育所等の整備や、乳幼児対象の遊び場の充実など、子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

■プロジェクト

子育て環境整備・支援事業

保育環境の整備、子育て環境の充実 など

事業年度・事業費

令和2年度～

—



特別天然記念物のタンチョウ



〈釧路市総合政策部都市経営課〉

☎0154-31-4502

mail : to-kikaku@city.kushiro.lg.jp

三笠市

人口 7,930人(2022.1)
主な観光ポイント
桂沢湖、三笠市立博物館

CO₂排出量実質ゼロの水素製造へ



室蘭工大との教育連携（実験見学会） CO₂地下固定実験の現場

世界初のCO₂地下固定実験が始まる

三笠市には、市面積の8割を占める森林と、約7.5億トンの石炭が未利用資源として眠っています。豊富な資源を活用した地域振興を目指し、室蘭工業大学などと連携して、水素製造・利活用に向けた研究や調査を進めています。

水素製造時に発生するCO₂は、昔の石炭採掘跡などに埋め戻すという、地域特性を生かした陸域CCSを目指します。これまでに、ヤフー株式会社社の寄附金などを活用して、地下約400mにCO₂を埋め戻して固定する実験を行いました。

CO₂排出量実質ゼロとなる水素製造・利活用を通じて、新たなまちづくりを目指しています。

■プロジェクト

水素製造実証実験事業

基礎実験（模擬炭層の実験）/
実証試験（CO₂地下固定実験、
CO₂フリー水素の生産実験）

事業年度・事業費

6カ年事業（予定）
1,260,000千円



石炭地下ガス化の概念図



〈三笠市産業開発課〉

☎01267-3-7090

mail : sangyok@city.mikasa.hokkaido.jp

北竜町

人口 1,713人(2022.1)
主な観光ポイント
ひまわりの里

ひまわりを活用した魅力あるまちづくり



ひまわり油



ひまわり刈り取り作業

ひまわりを活かした6次産業化の推進

北竜町では、町特産である「ひまわり油」の利活用促進に向けて、民間企業における豊富な知見や高い技術を活用し、農業や観光業などを中心とした地域経済の活性化や交流人口拡大の取組を行っています。

ひまわり油の知名度向上や新商品開発などに応援いただける企業の皆様からの連絡をお待ちしています。

■プロジェクト

ひまわり油再生プロジェクト

ひまわりを活用した新商品開発
と販路拡大/ひまわり油を原料
とした食品や化粧品開発/飲料
店等でのメニュー開発

事業年度・事業費

令和3～5年度
86,667千円



〈北竜町ひまわりプロジェクト推進室〉

☎0164-34-2111

mail : info@town.hokuryu.hokkaido.jp

石狩市

人口 58,096人(2022.1)
主な観光ポイント
道の駅石狩「あいろんど厚田」

再エネの地産地活の実現に向けて



REゾーン（再エネ100%エリア）



石狩市厚田マイクログリッドシステム

再エネで産業振興と地域課題の解決を

石狩市では、地域に豊富に賦存する再生可能エネルギーを、産業振興や地域の課題解決に活用すべく、「再エネの地産地活」の実現に向けた取組を進めています。

北海道を代表する産業拠点である石狩湾新港地域では、電力需要に対し、100%再エネでの供給を目指すエリア「REゾーン」を設定し、産業集積と脱炭素を同時に実現する取組を進めています。

また、厚田地区では「石狩市厚田マイクログリッドシステム」により、災害などで地域が孤立してもエネルギーの安定供給を実現する仕組みを構築しました。

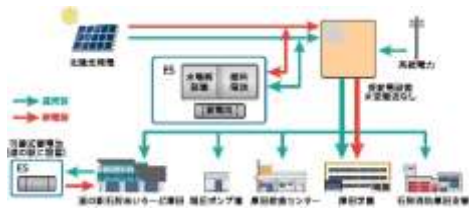
■プロジェクト

石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業

エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成事業 など

事業年度・事業費

未定



厚田マイクログリッドシステムイメージ



〈石狩市企画経済部企業連携推進課〉
☎0133-72-3158
mail: kouwank@city.ishikari.hokkaido.jp

岩内町

人口 11,658人(2022.1)
主な観光ポイント
オートキャンプ場マリンビュー

地場産業の活性化に向けた海洋深層水の新たな挑戦



トラウトサーモン



稚ナマコ

岩内町海洋深層水を活用したトラウトサーモン・稚ナマコの養殖

岩内町の主要産業である漁業の安定化を図ることを目的として、町では、海洋深層水を活用した、トラウトサーモン・稚ナマコの養殖・蓄養試験を実施します。

本試験を通じ、付加価値の高い新たな水産資源開発の可能性を検討します。

■プロジェクト

新たな増養殖企業化検討実証試験事業

ナマコ種苗生産技術の習得、生産試験/稚ナマコの育成試験、生育検証試験/サーモン養殖基礎調査/サーモンの養殖・蓄養試験/鮮魚高鮮度保持技術の検討

事業年度・事業費

令和3～5年度
30,777千円



岩内町地場産業サポートセンター



〈岩内町経営企画部企画財政課〉
☎0135-62-1011
mail: kikaku@town.iwanai.lg.jp

余市町

人口 17,920人(2022.1)
主な観光ポイント
余市宇宙記念館

食の都よいちフルコースプロジェクト



余市町産のフルコース



広大なヴィンヤードとワイン用ぶどう

「食の都」としての地位の確立

余市町には食に関する資源がとても豊富です。前菜からデザート、そしてワイン等のお酒。フルコース料理を作れるポテンシャルがあり「食の都」として存在感のある地域となれる可能性がある町です。

しかしながら、現状そのポテンシャルを十分に活かしきれていませんでした。

そこで、この「食の都よいちフルコースプロジェクト」により食の可能性を引き出すことで、「食の都」としてのブランディング・地位を確立し、生産者やサービス事業者等の所得の向上、インバウンドを含む来訪者の増加を目指し、活力のある地域を目指します。

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

水産資源の増殖補助/農産物の苗木補助/新商品開発の補助/地域資源活用人材の育成事業/トップセールス事業/展示会やイベントへの出品の補助/パンフレット、ポスターの作成/外部人材の活用/商店街の売り上げ向上に資する補助 など

事業年度・事業費

令和3～5年度

100,500千円



オール余市の豊富な食資源



〈余市町総務部企画政策課〉

☎0135-21-2117

mail: kikaku-s

@town.yoichi.hokkaido.jp

赤井川村

人口 1,115人(2022.1)
主な観光ポイント
キロロリゾート、山中牧場

新規就農者育成プロジェクト



パラグライダーに乗って



研修風景

農業の担い手育成から持続的な村づくりを！

赤井川村は、四方を山々に囲まれた国内でも珍しい「カルデラの里」で、日本で最も美しい村連合に加盟する人口1200人ほどの小さな農村です。

120年前の開拓の頃より農業の営みが続いていますが、農家世帯はゆるやかに減少しています。地域農業の衰退は、農村風景や地域経済はもとより、地域の様々な暮らしの支え合いにも大きな影響を及ぼしていきます。

村では新規就農受入の取組を平成7年度から進めてきていますが、令和3年度からは受入体制を拡充して、地域の担い手育成に取り組んでいます。

■プロジェクト

新規就農者の育成、営農実習支援金の拡充/遊休農地保全事業

営農実習支援金の拡充/遊休農地保全事業

事業年度・事業費

令和3～6年度

5,500千円



林農園



〈赤井川村総務課企画地域振興係〉

☎0135-34-6211

mail: soumuka@akaigawa.com

八雲町

人口 15,338人(2022.1)
主な観光ポイント
噴火湾パノラマパーク

「道産サーモン」と「研修牧場」で産業を活性化し働く人をつくる



八雲町長と落部漁協青年部



北海道二海サーモン水揚げ

産業活性化と雇用創出に向けて

太平洋と日本海の2つの海を持つ八雲町では、近年、漁獲量が大幅に減少するなど漁業を取り巻く環境は厳しさを増しており、漁業経営の安定と地域活性化を図るため、回転寿司のネタとして人気のトラウトサーモンを養殖し、北海道初となる「道産サーモン」の事業化を進めています。

また、農業分野においても高齢化により酪農家戸数が減少しており、農業の担い手確保に向けた研修や、家畜糞尿のバイオガス処理など地域が抱える課題の解決を図りながら農業振興を目指す研修牧場の整備を行いました。

■プロジェクト

サーモン試験養殖事業・ 研修牧場整備事業

2つの海（日本海・太平洋）での
トラウトサーモンの養殖／
農業研修施設の整備 など

事業年度・事業費

令和2年度～

1,880,000千円



企業版ふるさと納税を活用し整備した
研修牧場「大関牧場」



〈八雲町政策推進課政策調整係〉

☎0137-62-2300

mail: seisaku@town.yakumo.lg.jp

名寄市

人口 26,663人(2022.1)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けて



物流オープンプラットフォーム



北北海道の交通の要衝・名寄

物流の拠点を目指して

名寄市では、稚内・紋別・留萌方面のすべてに道がつながっているという位置的優位性を活かした「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けた取組を進めています。

物流の拠点として名寄市にモノが集まり、モノの輸送を効率化していくことで、地域経済の維持・発展につなげ、道北圏域の生産空間を維持していくために、オープンプラットフォーム（多様な業種がスペースを共有する物流拠点となるもの）の構築を進めます。

■プロジェクト

物流オープンプラットフォーム の構築

物流オープンプラットフォーム
の建設 など

事業年度・事業費

未定



物流拠点化イメージ

〈名寄市総合政策部総合政策課〉

☎01654-3-2111

mail: ny-sousei@city.nayoro.lg.jp

大樹町

人口 5,423人(2022.1)

主な観光ポイント

カムイコタン、坂下仙狹

大樹発！航空宇宙関連産業の集積による
地域創生の推進北海道スペースポート（HOSPO）
将来イメージ

HOSPO全景図

北海道に「宇宙版シリコンバレー」を！

大樹町では、大樹町を中心に北海道に多くの航空宇宙関連企業が集積する「宇宙版シリコンバレー」を目指すことにより、若者の雇用創出など地域創生を進めています。

ロケット射場やスペースプレーン（宇宙往還機）が離着陸可能な滑走路、格納庫など航空宇宙関連施設の整備を進めるほか、大樹町を拠点とする航空宇宙関連事業者への支援事業などを展開し、「宇宙版シリコンバレー」の形成を目指します。

■プロジェクト

航空公園機能拡充事業・航空
宇宙関連ビジネス推進事業

ロケット射場・滑走路・格納庫等の
整備/宇宙関連事業者支援 など

事業年度・事業費

令和2～6年度

2,470,000千円



ロケット打上げイメージ



〈大樹町企画商工課航空宇宙推進室〉

☎01558-6-2113

mail: uchu@town.taiki.hokkaido.jp

岩見沢市

人口 78,112人(2022.1)
主な観光ポイント
いわみざわ公園「バラ園」

未来技術を活用した スマート・アグリシティの実現

スマート農業のさらなる発展

岩見沢市の基幹産業である「農業」では、持続性確保が課題であり、新規就農者の確保はもちろんのこと、作業効率性の向上等による付加価値額向上や市場ニーズを見据えた作付け・生育スケジュールの最適化も重要となっています。

これらの課題解決に向けては、岩見沢市の地域特性であるICT環境に、5GやAI等の未来技術を用いて社会実装された農業作業機の有人走行支援機能を基に、遠隔監視下における無人走行に深化・高度化させ、スマート農業のさらなる展開を図り、営農者人口が減少しても耕作放棄地を出すことなく基幹産業として成長を続ける環境形成を進めています。

■プロジェクト

ICT活用型総合戦略推進事業

未来技術等社会実装促進事業、ビッグデータ活用促進事業、産学官連携による課題解決検討など

事業年度・事業費

平成28年度～

35,000千円



ICT活用した総合的な事業展開



〈岩見沢市企画財政部企画室〉

☎0126-35-4834

mail: kikaku@i-hamanasu.jp

猿払村

人口 2,627人(2022.1)
主な観光ポイント
さるふつ公園、カムイト沼

IoTを活用し猿払に最適な施設園芸を！



令和2年9月末に完成した施設



令和2年10月からスタートした野菜栽培

猿払村から新たな産業を創造

猿払村では、進学で村を離れた若者が戻らず、移住希望者にも魅力的な就労先の選択肢が少ない状況にあります。

将来的な企業誘致や新規就農者の受入れ増を目的に「新産業創造プロジェクト」を立ち上げ、IoTを活用した施設園芸の猿払モデルの構築に向けたイチゴや葉物野菜の栽培実証事業や、その収穫物を活用して村民の健康増進につなげる「食と健康のプロジェクト」などに取り組んでいます。

■プロジェクト

新産業創造プロジェクト

イチゴや葉物野菜の栽培実証事業／食と健康のプロジェクト など

事業年度・事業費

令和2～5年度

85,000千円



旧小学校グラウンド跡地を利用



〈猿払村総務課〉

☎01635-2-3131

mail: furusato@vill.sarufutsu.

hokkaido.jp

上士幌町

人 口 4,935人(2022.1)

主な観光ポイント

糠平湖、ぬかびら源泉郷

ICT先端技術を活用したスマートタウンの推進



タブレット配付



デマンド交通 高齢者用UIの開発画面

Society5.0を見据えたまちづくり

上士幌町では、高齢者向けオンデマンドバス予約アプリケーションの開発や既存の物流業者と移動サービスを掛け合わせた仕組みの検討など、ICTを活用したデジタル社会の推進により、地域住民の生活が持続的に向上することを目指しています。

また、町外からの利用者をターゲットに、企業や個人がワークスペースとして使用可能な「かみしほろシェアオフィス」も開設しています。

今後も、IoTやAIを活用したスマート農業・医療・介護・教育や、MaaSでの快適な移動等による生産性の向上を目指す事業、ICTを活用した域内での実証実験を進めていきます。

■プロジェクト

スマートなまちづくりプロジェクト

上士幌型ヒト・モノMaaS導入
／情報配信用タブレット導入／
自動運転バス導入 など

事業年度・事業費

令和4年度～

158,534千円



かみしほろシェアオフィス



〈上士幌町企画財政課ふるさと納税担当〉

☎01564-2-4290

mail : kikakuzaiseika@town.

kamishihoro.hokkaido.jp

沼田町

人口 2,951人(2022.1)
主な観光ポイント
ほたるの里、ほろしん温泉ほたる館

2023年「自然学校」の設立



雨竜川でスタンドアップパドルボード 焚き火を囲んでジビエ料理

■プロジェクト 沼田町まるごと自然体験プロジェクト

自然学校設立に向けた調査/
体験プログラムづくり など

事業年度・事業費

令和2～4年度
各年度24,200千円(予定)



「森のようちえん」も開催

自然学校の設立・運営による稼ぐ地域への発展

沼田町では、石炭、ほたる、農業、利雪など、町内の数ある資源を結びつけ、子どもから大人までが集い、1年を通して森であそべる「ノマド自然学校(仮)」の設立を目指しています。

この自然学校では、ノマドワーカー(通常のオフィス以外の様々な場所で仕事をする人々)を定期的に招き、ノマドワーカーを中心にした自然体験プログラムの実施などを計画しており、2023年の学校設立に向けて、資源調査、体験プログラムづくり、ノマドワーカー受入のためのコーディネータ人材の育成などを進めます。



〈沼田町産業創出課〉
☎0164-35-2155
mail: sangyou@town.numata.lg.jp

札幌市

人口 1,960,668人(2022.1)
主な観光ポイント
大通公園、札幌テレビ塔

さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成



魅力いっぱいの札幌圏



子どもがSDGsを考える場の創出

『まちづくり』は『ひとづくり』

さっぽろ連携中枢都市圏では、「『まちづくり』は『ひとづくり』である」との考えのもと、圏域を支える人材を育成・確保し、持続可能な「まちづくり」につなげるため、若者の地元定着に向けた奨学金返還支援や多様な業種を体験できるインターシップの開催、子どもの文化芸術体験や環境問題を考える場の創出、周産期救急医療従事者スキル向上研修事業など、人材育成に関する幅広い取組を展開しています。

◆さっぽろ連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢化社会にあっても圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるために、札幌市と関係11市町村(小樽市・岩見沢市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村・南幌町・長沼町)で形成。

■プロジェクト さっぽろ圏「ひとづくり」プロジェクト

地元就職者への奨学金返還支援
／環境問題を考える場の創出/
周産期救急医療従事者スキル向上研修など

事業年度・事業費

令和2年度～



さっぽろ連携中枢都市圏ロゴ



〈札幌市まちづくり政策局政策企画部
企画課広域連携担当〉
☎011-211-2281
mail: ki.kikaku@city.sapporo.jp

岩内町

人口 11,658人(2022.1)
主な観光ポイント
オートキャンプ場マリンビュー

岩内高等学校との連携事業



北海道岩内高等学校



「探究の時間」の課外活動の様子

岩内高等学校との連携・協働で地元に愛着を

岩内町では、「働く場がない」「学べる場がない」という理由で、若者の地元離れが深刻化しています。こうした若者の地元定着を促進するため、岩内高等学校と連携し、地元に愛着をもった若者の育成を目指します。

総合的な学習として実施される「探究の時間」に、地域おこし協力隊員を講師として派遣し、高校生が地域の魅力の発見や地域課題の解決を目指す機会を提供するほか、卒業後の進路について検討する場である、「地元企業研究会」へ参加し、「働く場」「学べる場」づくりを推進しています。

■プロジェクト 岩内高等学校魅力化プロジェクト

企業と連携した進路の検討／総合学習での連携 など

事業年度・事業費

令和2年度～



「地元企業研究会」の様子



〈岩内町経営企画部企画財政課〉

☎0135-62-1011

mail : kikaku@town.iwanai.lg.jp

知内町

人口 4,044人(2022.1)
主な観光ポイント
重内展望台、松前矢越道立自然公園

過疎が進む小さな町の高校を魅力化



知内高校



知内高校（野球部）

町立高校の魅力を最大限発揮させるために

知内町は、1次産業が基幹産業で、北海道1の産地を誇る「ニラ」などの山の幸や津軽海峡の荒波に揉まれた「カキ」などの海の幸が有名です。

このプロジェクトは過疎が進む小さな町の「町立知内高等学校」の魅力化を図り、その存続に向けて生徒の安定的な確保や学校・生活環境の向上、卒業後の新たな地域の担い手として活躍し、互いに絆を深めることで人口減少の抑制を目指します。

持続可能なまちづくりのための第一歩となる取組に、ぜひお力添えをお願いいたします！

■プロジェクト 町立知内高校魅力化プロジェクト

強豪校として登りつつある部活動の老朽化している設備や備品の更新と安心安全な教育環境の導入

事業年度・事業費

令和3～6年度

260,000千円



知内高校（体育祭の様子）



〈知内町政策調整課〉

☎01392-5-6161

mail : kikaku@town.shirouchi.hokkaido.jp

音威子府村

人 口 682人(2022.1)
 主な観光ポイント
 エコミュージアムおさしまセンター

村立おといねっふ美術工芸高校の魅力化



村立おといねっふ美術工芸高等学校



村立おといねっふ美術工芸高等学校
 (ロビー)

ものづくりを通じた人づくり

北海道で一番小さな村・音威子府村で、美術工芸を学ぶために全国各地から生徒が訪れる、北海道おといねっふ美術工芸高校。

村立工芸科高校として、寮生活のもと「ものづくり」と向き合える環境、地域との交流を通じて、創造力豊かな「人づくり」を実践しています。

更なる高校魅力化を図るため、企業版ふるさと納税を通じた応援のほか、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。

■プロジェクト

おといねっふ美術工芸高校振興事業ほか

木材購入/生徒作品展の開催/寮運営など

事業年度・事業費

—
 140,000千円



〈音威子府村総務課地域振興室〉
 ☎01656-5-3311
 mail : tiikishinkou
 @vill.otoinepu.hokkaido.jp

枝幸町

人 口 7,640人(2022.1)
 主な観光ポイント
 ウスタイベ千畳岩、健康回復村

地域医療を支える人材育成・確保



枝幸町国民健康保険病院



枝幸町マスコットキャラクター
 「えさっしー」

医療体制維持に向けた支援制度

枝幸町では、医療技術者等が慢性的に不足しており、地域医療体制の維持は、重要かつ喫緊の課題となっています。

地域医療や介護現場を支える人材の育成・確保に向けて、町内の事業所等への勤務を希望する医療従事者等に対する養成機関への修学の際の資金の貸付や、町内での就業を希望する方に対し、就業時の経済的援助を行う「医療技術者等修学資金貸付・就業時一時金貸付制度」などの支援を行っています。

■プロジェクト

医療技術者の修学・就業支援

修学資金の貸付/就業時一時金貸付

事業年度・事業費

令和2年度～
 各年度 12,000千円



医療体制を維持し地域を守る



〈枝幸町まちづくり推進課〉
 ☎0163-62-1329
 mail : futabashuji@esashi.jp

釧路市

人口 163,110人(2022.1)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場

1人の雇用を生む100社の育成を目指して



k-Biz相談風景



k-Biz支援事例(販路拡大サポート
商品食べる米ぬか「ぬかっこ」)

k-Bizによる売上UP策提案と実行支援

釧路市では、2018年に公設民営の無料経営相談所「釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz」をオープン。

相談企業が持つ真の価値や強みを見抜き、それを生かした具体的な売上UP策の提案と伴走型の実行支援を行うことで、「1人の雇用を生む100社の育成」を目指す取組を進めています。

オープンから4年弱で来所相談件数は6,800件にもものぼり、市内外から約900社が訪れる「行列のできる相談所」となっています。成果事例も多数生まれ、地域内外の事業者を結びつけるビジネスマッチングの実績もあります。

企業版ふるさと納税等のご連絡をお待ちしております。

■プロジェクト

k-Bizを核とした中小企業及び創業支援

経営相談を通じた売上UP策提案
と伴走型実行支援/相談者同士の
ビジネスマッチング など

事業年度・事業費

令和元～5年度

各年度 56,986千円



釧路市ビジネス
サポートセンター



公式 HP



公式 Facebook



〈釧路市産業振興部商業労政課〉

☎0154-31-4611

mail : sho-shougyourousei

@city.kushiro.lg.jp

秩父別町

人口 2,331人(2022.1)
主な観光ポイント
ローズガーデン、ベルパーク

秩父別町まち・ひと・しごと創生推進事業



ローズガーデン



ベルパークちっぷべつ

子ども子育て応援宣言のまち/ゼロカーボンシティの実現に向けて

秩父別町では「第2期秩父別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる4つの基本目標の達成に向けて、結婚から子育てまでの切れ目ない支援、移住定住の促進などの施策の推進や、ゼロカーボンシティの実現による持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

< 4つの基本目標 >

しごとをつくり、安心して働けるようにする

新しい人の流れをつくり、転入者を増やし、人の流出を防ぐ

結婚・出産・子育てを安心してできるようにする

将来にわたり安心して暮らせるまちづくり

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

結婚から子育てまでの切れ目ない支援事業/移住定住促進事業/ゼロカーボンシティ事業 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



屋内遊戯場ちっくる



〈秩父別町企画課〉

☎0164-33-2111

mail: kikakuka@chippubetsu.jp

ニセコ町

人口 4,946人(2022.1)
主な観光ポイント
スキー場、ニセコ連峰、温泉郷

SDGs

～未来へ向けた持続可能なまちづくり～



ニセコキッズパーク



多文化交流イベントニセコハロウィン

感動の大地「ニセコ」から驚きを世界へ。

ニセコ町では、環境と社会と経済の相乗効果による持続可能なまちづくりを企業の皆様と共に進める「共感パートナーシッププロジェクト」を立ち上げました。

省エネルギー・再生可能エネルギーの導入など環境モデル都市の実現に向けた取組のほか、木材を中心とした地域資源循環、ローカルスマート交通深化、ICT教育やスポーツ教育の充実、キッズパークなどの子育て支援、多様な多文化な交流イベントの開催などニセコの価値を未来へつなげる様々なプロジェクトを実施していきます。

■プロジェクト

共感パートナーシッププロジェクト

「NISEKO生活・モデル地区」での持続可能な開発/CO2の86%削減に向けた取組/外国語教育・食育・スポーツ教育の充実 など

事業年度・事業費

令和2年度～



SDGs未来都市ニセコイメージ図



〈ニセコ町企画環境課〉

☎0136-44-2121

mail: jichi@town.niseko.lg.jp

共和町

人 口 5,659人(2022.1)
主な観光ポイント
神仙沼、西村計雄記念美術館

共和町まち・ひと・しごと創生推進事業



神秘の湖沼「神仙沼」



西村計雄記念美術館

将来にわたり活力ある地域の実現を目指して

共和町では、「第2期共和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に4つの基本目標を掲げ、基幹産業である農業の担い手確保、新たに建設予定の『道の駅』を拠点とした交流・関係人口の拡大と地域の魅力発信、子育て支援の拡充などによる人口減少対策に取り組んでいます。寄附を通じて、町を支援してくださる企業をお待ちしています。

< 4つの基本目標 >

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

都市部とのつながりを築き、共和町への新しいひとの流れをつくる

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

■プロジェクト まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業

高等教育の奨学金返済への支援/道の駅の整備/不妊治療の全額助成/高齢者等の移動手段の確保 など

事業年度・事業費

令和4～6年度



らいでんブランドの農産物



〈共和町企画振興課〉

☎0135-67-8795

mail: kikaku@town.

hokkaido-kyowa.lg.jp

古平町

人 口 2,798人(2022.1)
主な観光ポイント
ふるびら温泉しおかぜ、セタカムイ岩

古平町まち・ひと・しごと創生推進事業



古平町複合施設 かなえーる



水産加工品の販路拡大

人口減少社会に適応したまちづくり

古平町では、人口減少社会に適応したまちづくりを進めるため、「第2期古平町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に4つの基本目標を掲げ、まちなかの再生整備や漁業・水産加工業の営安定に向けた支援、出産・子育て環境の整備、食の魅力を活用した地域経済の活性化など、各種施策に取り組んでいます。

< 4つの基本戦略 >

人口減少下においても安心して暮らせるまちの実現

古平町の産業振興を図り、所得の安定をめざす

出産・子育て環境の整備と医療・福祉の充実

古平町への新しい人の流れをつくる

■プロジェクト 総合戦略に基づく事業

コンパクト・プラス・ネットワークの形成/産業振興の担い手育成/保育・子育て環境の充実/食を活用した広域観光の推進

事業年度・事業費

令和4～6年度



保育・子育て環境の充実



〈古平町企画課〉

☎0135-48-9836

mail: kikaku.sct

@town.furubira.lg.jp

室蘭市

人口 79,986人(2022.1)
主な観光ポイント
地球岬、白鳥大橋

室蘭市まち・ひと・しごと創生推進事業



工場夜景



地球岬

室蘭市の特性や資源を活かしたまちづくり

室蘭市では、第2期総合戦略において3つの基本目標を掲げ、「働くまち」、「住むまち」として室蘭市を選んでもらうため、魅力ある雇用の場の創出や子育て世代の希望をかなえるまちづくり、歴史や文化など特徴的なまちの資源を活かした、交流人口の拡大に取り組みます。

< 3つの基本目標 >

まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の創出

子育て世代が希望を持って住み続けられるまちづくり

まちの資源を活かし、新たな「ひと」の流れをつくる

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

移住推進事業/市内創業支援等事業/待機児童対策/観光振興計画の推進など

事業年度・事業費

令和2～6年度



えみらん DENZAI環境科学館・室蘭市図書館



〈室蘭市総務部総務課〉

☎0143-25-2215

mail : soumu@city.muroran.lg.jp

苫小牧市

人口 169,528人(2022.1)
主な観光ポイント
樽前山、ウトナイ湖

雇用・子育て・移住・地域ブランド向上など総合的なまちづくり



苫小牧市の未来を創る



産業拠点都市、苫小牧

総合戦略に掲げた基本目標の実現に向けて

苫小牧市では「第2期苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略」に掲げる4つの基本目標の達成に向けて、若者の地元就職に向けた人材育成や起業家へのサポート、給食費助成や体験プログラムなど良質な子育て環境の提供、Uターン等移住の促進やスポーツ振興、企業誘致や都市環境整備などの推進に取り組んでいます。

< 4つの基本目標 >

地元企業と学生の「つながり」を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現する

子育てしながら仕事を続けられる社会環境を整備する

地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進する

産業競争力を高め、地域ブランド力を向上する

■プロジェクト

苫小牧版地方創生事業

地元雇用の確保拡大/子育て支援/移住促進/地域ブランド力向上 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



自然と共存するまち、苫小牧



〈苫小牧市政策推進課〉

☎0144-32-6039

mail : seisaku@city.tomakomai.hokkaido.jp

登別市

人口 46,135人(2022.1)
主な観光ポイント
登別温泉、カルルス温泉

登別市まち・ひと・しごと創生推進事業



地獄の谷の鬼花火



デンマーク友好都市中学生派遣交流事業

登別市を「魅力あるまちへ」

登別市では平成7年度以降から人口減少が続いており、様々な課題に直面しています。この課題に対応するため、5つの基本目標を掲げ、「このまちに住み続けたい、住んでみたいと思える魅力あるまち」の実現を目指し、当市の人口減少のスピードを鈍化させ、将来においては穏やかであったとしても上昇に転ずることを目標に地方創生の取組を行っています。

< 5つの基本目標 >

子どもを生み育てやすいまちづくり

安心して老いを迎えることができるまちづくり

各産業が元気で展開されるまちづくり

観光地としての魅力を高め選択されるまちづくり

移住・定住・応援したいまちづくり

■プロジェクト

登別市地方創生推進事業

子育て/各産業の活性化/魅力ある観光地づくり/移住促進 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



日本工学院北海道専門学校サテライトオフィスen



〈登別市総務部企画調整グループ〉

☎0143-85-1122

mail: kikaku@city.noboribetsu.lg.jp

伊達市

人口 32,901人(2022.1)
主な観光ポイント
北黄金貝塚、北湯沢温泉郷

伊達市まち・ひと・しごと創生推進事業



北黄金貝塚



三階滝

「こころ」も「からだ」も健康に暮らせるまちへ

伊達市では、「第2期伊達市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」において3つの基本目標を掲げ、温暖な気候と豊かな自然環境を生かし「健康」をコンセプトに、伊達市を選び、定住し、産み、育て、健やかに住み続ける人が増えることを目指し、生涯にわたっていきいきと暮らせるまちづくりを進めています。

< 3つの基本目標 >

健康産業の創造

定住促進のための環境整備

生涯現役社会の実現

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

健康産業を創造する事業/定住促進のための環境を整備する事業/生涯現役社会を実現する事業など

事業年度・事業費

令和2～6年度



健康に暮らすなら伊達市



〈伊達市企画財政課〉

☎0142-82-3114

mail: kikaku@city.date.hokkaido.jp

壮瞥町

人口 2,392人(2022.1)
主な観光ポイント
昭和新山、洞爺湖、壮瞥公園

壮瞥町まち・ひと・しごと創生推進事業



昭和新山



壮瞥公園から望む洞爺湖

笑顔あふれる元気なまち そうべつ

壮瞥町では、第2期総合戦略に掲げる5つの基本目標の達成に向けて、地域産業の経営基盤強化による雇用の維持・拡大、安心して子どもを産み育てられる環境の整備、子どもからお年寄りまで、生涯を通じて学び、協働するまちづくりなど、各種施策を推進しています。

< 5つの基本目標 >

- ① 産業力強化で雇用を創出する
- ② 人材育成と子育て支援を強化する
- ③ 情報発信強化で人を呼び込む
- ④ 誰もが活躍でき、元気に暮らせるまちづくり
- ⑤ 持続可能な行財政運営の推進

■プロジェクト

創生総合戦略に基づく事業

地域産業経営基盤の強化/子育て支援の充実/情報発信の強化/学習機会の充実/持続可能なまちづくり など

事業年度・事業費

令和3～6年度



〈壮瞥町企画財政課〉

☎0142-66-2121

mail : kikaku@town.sobetsu.lg.jp

洞爺湖町

人口 8,235人(2022.1)
主な観光ポイント
洞爺湖、西山散策路など

洞爺湖町まち・ひと・しごと創生推進事業



冬の洞爺湖



入江・高砂貝塚化の内部の様子

地域特性や豊富な資源を活かしたまちづくり

洞爺湖町では、「第2期洞爺湖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標を推進させ、まちの魅力と地域資源を活かしながら雇用の創出により移住・定住を促進するとともに、結婚・出産・子育て環境の改善を図ります。

さらに、海・湖・山等の自然環境や温泉などの地域の特性を活かした交流人口の拡大に取り組んでいます。

< 4つの基本目標 >

しごとづくりと働きやすい環境

ひとの流れづくりとつながりの強化

出産・子育て・教育支援の充実

安心のある暮らしづくり

■プロジェクト

創生総合戦略に基づく事業

空き店舗を活用した起業支援/移住希望者へのサポート/子育て負担の軽減/防災体制の充実など

事業年度・事業費

令和4～6年度



金比羅火口災害遺構散策路



〈洞爺湖町企画防災課〉

☎0142-74-3004

mail : kikaku@town.toyako.lg.jp

様似町

人 口 4,087人(2022.1)
主な観光ポイント
アポイ岳、親子岩ふれ愛ビーチ

様似町まち・ひと・しごと創生推進計画



アポイ岳



ふるさとジオ塾

～夢を絆を 笑顔でつなぐまちづくり～

様似町では「第2期様似町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる4つの基本目標の達成に向けて、産業の活性化による人口流出の抑制や、アポイ岳ユネスコ世界ジオパークを活用した新しい人の流れの創出、妊娠・出産・子育てにおける支援や環境づくり、人や企業・団体・町などが協働で誰もが安全で安心して住み続けられる魅力あるまちづくりを推進します。

< 4つの基本戦略 >

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

地域とのつながりを築き、地域への新しい人の流れをつくる

結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

人が集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる

■プロジェクト

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業

産業振興対策の推進/移住交流の推進/ジオパークを活用した特色ある教育の推進/地域医療体制の維持 など

事業年度・事業費

令和3～6年度



〈様似町役場企画調整課〉

☎0146-36-2122

mail: kikakutyouseika@samani.jp

函館市

人 口 248,106人(2022.1)
主な観光ポイント
五稜郭公園、函館山

函館市まち・ひと・しごと創生推進事業



函館の夜景



子育て環境

まちとしての総合的な魅力を高めるために

函館市では、市民が幸せを実感しながらいつまでも住み続けたいまちとなるよう、福祉拠点を中心とした地域で見守り支え合う仕組みづくりや、安心して子どもを生み育てることができる環境の整備、観光振興による交流人口の拡大、若者をはじめとする雇用の場の確保など、各種施策を推進しています。

< 3つの基本目標 >

市民一人ひとりの幸せを大切にします

函館の経済を支え強化します

快適で魅力あるまちづくりを進めます

■プロジェクト

第2期函館市活性化総合戦略

福祉拠点の整備/健康づくり/ひとり親家庭支援/教育環境充実/食の産業化/西部地区再整備 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



食のイベント



〈函館市企画部計画推進室計画調整課〉

☎0138-21-3693

mail: keikakuchosei

@city.hakodate.hokkaido.jp

北斗市

人口 45,025人(2022.1)
主な観光ポイント
トラピスト修道院、きじひき高原

北斗市まち・ひと・しごと創生推進事業



新函館北斗駅



音楽のまち・ほくと

将来にわたり持続可能なまちづくり

北斗市では「第2期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる4つの基本目標の達成に向けて、北海道新幹線の札幌延伸を見据えた新たな人の流れの創出や産業の高収益化、移住・定住の促進、仕事と子育てを両立できる環境整備、持続可能な暮らしやすいまちづくりを進めています。

< 4つの基本目標 >

北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる

北斗らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

子どもを生み、育てたいという希望をかなえる

住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る

■プロジェクト 創生総合戦略に基づく事業

雇用確保及び雇用機会づくり促進事業/Uターン者の奨学金償還免除/教育に関する支援事業 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



< 北斗市総務部企画課 >

☎0138-73-3111

mail: kikaku@city.hokuto.hokkaido.jp

七飯町

人口 28,062人(2022.1)
主な観光ポイント
大沼国定公園、城岱牧場

七飯町まち・ひと・しごと創生推進事業



大沼国定公園



道の駅なないろ・ななえ

人口増社会と地域活性化に向けて

七飯町では、若い世代の転出抑制や転入増加、出生率上昇や出生増加のため「第2期七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略」4つの基本目標を掲げ、女性の活躍支援や子育て環境の整備、住民サービス機能の維持・確保、地域産業の人材育成や競争力強化、企業誘致やI・Uターンの促進などに取り組んでいます。

< 4つの基本目標 >

子どもを安心して産み育てられる

住み続けたいと思える生活環境を整える

食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる

七飯町らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

■プロジェクト 住み続けたいまち七飯町を目指した総合的な施策

子育てサポート事業/活力のあるまちづくり推進事業/道の駅エリア活性化事業/移住定住促進事業 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



函館新幹線総合車両所



< 七飯町政策推進課 >

☎0138-65-5792

mail: seisaku@town.nanae.hokkaido.jp

鹿部町

人 口 3,721人(2022.1)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉公園、ひょうたん沼公園

■プロジェクト

創生総合戦略に基づく事業

沿岸漁業振興対策事業/拠点観光
施設運営事業/教育費の負担軽減
/道路ネットワーク など

鹿部町まち・ひと・しごと創生推進事業



鹿部漁港と北海道駒ヶ岳



道の駅しかべ間歇泉公園

地域経済の好循環拡大と定住移住に取り組む

鹿部町では、「第2期鹿部町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標を推進させ、産業の活性化や担い手の育成、道の駅を観光拠点として地域資源を生かした交流人口の拡大と移住に繋がる魅力の発信、結婚・出産・子育て支援の拡充、災害に対する備えなどにより、いつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めています。

< 4つの基本戦略 >

鹿部で「稼ぐ力」を高める

鹿部に人を「集める力」を高める

鹿部で子どもを育てる「魅力」を高める

住民の安全・安心・健康を「守る力」を高める



鹿部稲荷神社例大祭(稚児行列の子ども)



〈鹿部町企画振興課〉

☎01372-7-5297

mail : kikaku

@town.shikabe.hokkaido.jp

旭川市

人 口 327,960人(2022.1)
主な観光ポイント
旭山動物園、旭川市科学館

■プロジェクト

創生総合戦略に基づく事業

結婚・出産・子育て支援/移住・
雇用促進/新たな産業創出支援/
市街地の賑わい創出 など

旭川市まち・ひと・しごと創生推進事業



あさひかわ北彩都ガーデン



旭山動物園

都市・農村・自然が共創し、ひととしごとが力強く好循環する北北海道の拠点づくり

旭川市では「旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】」に4つの基本目標を掲げ、妊産婦のサポート体制の充実や子育て環境の整備、地域資源を生かした滞在型観光や移住の促進、デザインなど強みを生かした産業構築、ICTパーク運営など中心市街地の活性化に取り組んでいます。

< 4つの基本目標 >

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

新しい人の流れをつくり、留まれる中核拠点を創出する

北北海道を舞台にチャレンジするひとや企業を応援し、雇用環境を充実する

安心して魅力ある持続可能な拠点都市を形成する

事業年度・事業費

令和2～6年度



〈旭川市総合政策部政策調整課〉

☎0166-25-5358

mail : seisakuchosei

@city.asahikawa.lg.jp

士別市

人口 17,676人(2022.1)
主な観光ポイント
羊と雲の丘、世界のめん羊館

士別市まち・ひと・しごと創生推進事業



士別サフォーク



合宿の聖地創造

未来のまちと つぎの未来へ

士別市では「第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で3つの重点プロジェクトを掲げ、コンパクトタウンの推進や「羊のまち士別」ブランドの確立、スマート農業の推進やサフォーク羊の供給体制の充実、スポーツ合宿の招致や生涯スポーツの推進など、各種事業を実施しています。

< 3つの重点プロジェクト >

まちの未来創造

農業未来都市創造

合宿の聖地創造

■プロジェクト

総合戦略重点プロジェクト

コンパクトタウン関連事業/持続可能な足腰の強い農業農村事業/合宿の聖地関連事業 など

事業年度・事業費

令和2～7年度



農業未来都市創造



まちの未来創造



〈士別市総務部創生戦略課〉

☎0165-26-7813

mail: soseisenryakuka

@city.shibetsu.lg.jp

愛別町

人口 2,612人(2022.1)
主な観光ポイント
総合スポーツ公園

愛別町まち・ひと・しごと創生推進事業



産業の活性化



誰もが住みたくなるまちづくり

子どもの笑顔かがやく恵みの大地を目指して

愛別町では、人口減少を抑制し魅力と活力のあふれるまちづくりを推進するため「第2期愛別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる4つの基本戦略に基づき、結婚から子育てまでの支援体制の充実や、良質な農産物の生産支援、関係人口の増加、移住・定住を促進する事業など、各種施策に取り組んでいます。

< 4つの基本戦略 >

結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

未来を担う農業を大切に、いきいきと働けるようにする

新しい人の流れをつくり、「あいべつ」ファンを増やす

誰もが住みたくなる、戻りたくなる安全・便利なまちをつくる

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

不妊治療費助成事業/教育ICT推進事業/スマート農業推進事業 など

事業年度・事業費

令和3～6年度



子育て環境の充実



〈愛別町総務企画課〉

☎01658-6-5111

mail: soumukikaku

@town.aibetsu.hokkaido.jp

下川町

人口 3,098人(2022.1)
主な観光ポイント
万里長城、五味温泉

下川町まち・ひと・しごと創生推進事業



万里長城



五味温泉

SDGsを取り入れ、下川町で暮らすことが幸せと感じる幸福度の高い地域を目指して

下川町の年齢3区分別人口では、令和2年10月1日時点において高齢者人口が1,277人、生産年齢人口が1,603人であり年少人口は323人となっています。

今後、人口減少に伴う地域経済の縮小によって若者世代の流出や少子高齢化がさらに進むことが予測され、労働者不足や自治機能の低下といった課題が生じます。

これらの課題に対応するため、目の前の課題解決だけではなく、これから生まれてくる未来世代のことを予測しつつ、長期的、複眼的な視点でまちづくりを進めるため、下川町では、町民主体による「2030年における下川町のありたい姿（下川版SDGs）」の実現を目指しています。

■プロジェクト

下川版SDGsによる地域創造事業

地域振興事業/林業・林産業振興事業/農業振興事業/快適住まいづくり促進事業など

事業年度・事業費

令和3～6年度



〈政策推進課SDGs推進戦略室〉

☎ 01655-4-2511

mail: seisaku

@town.shimokawa.hokkaido.jp

浜頓別町

人口 3,442人(2022.1)
主な観光ポイント
クッチャロ湖、ペニヤ原生花園

浜頓別町まち・ひと・しごと創生推進計画



クッチャロ湖のハクチョウ



ペニヤ原生花園のハマナス

住み続けたいまち かえりたいまち
輝くふるさと はまとんべつ

浜頓別町では、現在、住んでいる人や訪れる人たちに「ずっとここで暮らしたい」「浜頓別町で暮らしてみたい」、故郷を離れてしまった人たちに「浜頓別町に帰りたい」と想ってもらえる魅力あふれるまちづくりを行い、人口減少に歯止めをかけ、次世代の子どもたちにつなげます。

< 4つの基本戦略 >

若い世代の希望を叶える

安定した雇用を生む

安心な暮らしを守る

外から人を呼び込む

■プロジェクト

浜頓別町まち・ひと・しごと創生推進事業

妊産婦健康診査支援事業、中小企業・小規模企業振興補助の活用 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



浜頓別町のマスコットキャラクター
スワットン



〈浜頓別町総務課地方創生推進室〉

☎ 01634-2-2345

mail: sousei@mail.town.

hamatonbetsu.hokkaido.jp

池田町

人口 6,288人(2022.1)
主な観光ポイント
ワイン城、千代田堰堤

池田町まち・ひと・しごと創生推進事業



産業の活性化



雄大な自然環境

人づくりはまちづくり、協働のまちを目指して

池田町では、人口減少を抑制し魅力と活力のあふれるまちづくりを推進するため「第2期池田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる4つの基本戦略に基づき、結婚から子育てまでの支援体制の充実や良質な農産物の生産支援、産業の育成、関係人口の増加、移住・定住を促進する事業など、各種施策に取り組んでいます。

< 4つの基本戦略 >

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

産業の振興と雇用の場の確保・拡大につなげる

他地域との繋がりを築き、池田町への新しい人の流れをつくる

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

道の駅整備検討事業/サテライトオフィス整備検討事業 など

事業年度・事業費

未定



子育て環境の充実



〈池田町企画財政課〉

☎015-572-3112

mail : kikaku@town.hokkaido-ikeda.lg.jp

根室市

人口 24,231人(2022.1)
主な観光ポイント
納沙布岬、春国岱、花咲灯台車石

根室市まち・ひと・しごと創生推進事業



根室明治公園サイロ



サンマの水揚げ

～子どもたちに誇れるまち・ひと・しごと～

根室市では、若い女性を始め、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことができる地域を目指しています。

新しい人の流れを創造するため、根室市ならではの暮らしやすさを再認識する機会や、より一層、根室市の魅力を市内外に発信するために、「子育て支援」、「雇用対策」、「人材育成」の3つを一体的に取り組み、住み続けられるまちづくりを推進します。

寄附を通じて官民協働で地域の魅力向上に取り組んでくださる企業をお待ちしています！

■プロジェクト

創生総合戦略に基づく事業

子ども向け屋内遊戯施設整備事業/産学官連携研究開発事業/まちづくり協働推進事業

事業年度・事業費

令和2～6年度



〈根室市総合政策部総合政策室〉

☎0153-23-6111

mail : sog_seisaku

@city.nemuro.hokkaido.jp

中標津町

人口 22,978人(2022.1)
主な観光ポイント
開陽台展望台、格子状防風林

中標津町まち・ひと・しごと創生推進事業



上空から見た開陽台と格子状防風林



みんなの景観プロジェクト
(かぼちゃランタン)

「雇用・活性化」「結婚・子育て」「定住・愛着」の3つの視点で人口減少対策

中標津町では人口減少の抑制を図るため「第2期中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、「雇用・活性化」「結婚・子育て」「定住・愛着」の3つの視点での人口減少対策に取り組んでいます。

< 3つの目標 >

多様なつながりで活性化する
まち【雇用・活性化】

結婚し子どもを産み育てたいと
思えるまち【結婚・子育て】

愛着を持ち、住みたくなる、戻っ
てきたくなるまち【定住・愛着】

■プロジェクト

人口減少対策への取組

持続的な産業の実現と付加価値向上、女性の社会参加の促進、若い世代の結婚支援、郷土愛を深めるまちづくり（景観教育・スポーツ文化環境の充実等）、高等教育機関の誘致・充実など

事業年度・事業費

令和3～6年度



農業高校生が自ら作る肉・乳加工品



〈中標津町総務部政策推進課〉

☎0153-73-3111

mail: kikaku@nakashibetsu.jp

協働

地域の課題解決に向けた事業提案やタイアップ事業の実施、実証実験への参画など、行政と一緒に地域創生に取り組んでいただける企業の皆様を募集しています。ご支援をよろしくお願いいたします。



長沼町

タンチョウも住めるまちづくり

田園と自然の共生拠点整備構想

長沼町では、タンチョウの生息（繁殖）箇所である舞鶴遊水地内の野鳥観察小屋（鳥の駅マオイトー）やその近隣に位置する廃校跡地を活用し、田園と自然の共生拠点整備構想を検討しています。

自然を守りながら、経済循環と多様な人の交流を生み出す拠点の活用方法にノウハウやアドバイスをいただける企業を募集しています。



舞鶴遊水地周辺に飛来するタンチョウ



〈長沼町政策推進課〉

☎0123-76-8016

mail: seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp

ニセコ町

SDGs～未来へ向けた持続可能なまちづくり～

共感パートナーシッププロジェクト

ニセコ町のまちづくりに共感していただき、以下の取組と一緒に推進いただける企業を募集しています。

- ・新たな街区「NISEKO生活・モデル地区」での持続可能な開発
- ・CO2の86%削減に向けた取組
- ・外国語教育、食育、スキーなどスポーツ教育の充実
- ・多様で多文化な交流イベントの開催 など



ニセコキッズパーク



〈ニセコ町企画環境課自治創生係〉

☎0136-44-2121

mail: jichi@town.niseko.lg.jp

岩内町

岩内町発祥の地域素材を活用した「イワナイブランド」の確立

地元産ホップ、アスパラガス、酒米の栽培・6次産業化

岩内町では、1871(イ・ワ・ナ・イ)年に道内で初めて発見されたビールの原料「ホップ」を始め、日本で初めて栽培に成功した「アスパラガス」など、岩内町に縁のある地元産品の栽培・活用し、新たな地域ブランドの確立を目指します。

6次産業化も視野に入れて、取組を進めてまいりますので、ご興味のある企業様は、是非ご連絡ください。



アスパラガス



町内で栽培されたホップ



アスパラガス発祥の地石碑



野生ホップ発見の地石碑



〈岩内町経営企画部企画財政課地域創生係〉

☎0135-62-1011

mail: kikaku@town.iwanai.lg.jp

仁木町

企業と連携して次世代型観光拠点を整備

「フルーツパークにき」を一新

仁木町は、果物を主とした観光のほか、近年はワイナリーも増加傾向にあり、これまで以上に魅力ある観光エリアとなる可能性があります。

今後、開通予定の国道5号、倶知安余市道路（仮称）仁木ICの降り口付近にある「フルーツパークにき」を一新し、次世代型観光拠点として整備していくため、ご協力いただける企業を募集しています。



農村公園フルーツパークにき

〈仁木町産業課商工観光振興係〉

☎0135-32-3951

mail: syoukou02-niki@town.niki.hokkaido.jp



室蘭市

室蘭から新しいビジネスがはじまる。「サテライトオフィス室蘭」

ぜひ室蘭でのビジネス展開を！

室蘭市のサテライトオフィスは、「ビジネスチャンスを広げたい」「優秀な学生を採用したい」という室蘭市外の企業、個人事業主の皆様にご利用いただける施設です。

室蘭市でのビジネス展開をお考えの際には、「サテライトオフィス室蘭」を検索してください。



サテライトオフィス室蘭の内観

サテライトオフィス室蘭

検索



〈公益財団法人室蘭テクノセンター〉

☎0143-45-1188

mail: techno@murotech.or.jp

苫小牧市

苫小牧での就職を促したい！

苫小牧市では、優秀な人材を探す企業や苫小牧市内で仕事を探す方向けに、苫小牧の企業と人を「しごと」でつなぐ、求人情報サイト「とまジョブ」を運営しています。

サイトの充実を図るため、掲載していただける企業様を募集しています。

ぜひ企業様からのご連絡お待ちしております。



市が運営する求人情報サイト（とまジョブ）



〈苫小牧市産業経済部工業・雇用振興課〉

☎0144-32-6436

mail: kogyo@city.tomakomai.hokkaido.jp

えりも町

えりも岬を甦らせた漁師たちの 実話を基にした映画製作の実現

先人が残した日本人のあるべき姿を未来へ

浦河町、様似町、えりも町、及び広尾町の四町では、浦河町出身の田中光敏監督によるえりも岬の緑化事業を題材とした映画の実現に向けて取り組みを行っています。これは、明治から昭和の初めに森林伐採で砂漠化した荒れ地に、地元の漁師らが木を植え続け、半世紀をかけて豊かな森と海を甦らせた史実です。

日本人の先人が残した自分たちの魂、日本のあるべき姿を未来へ伝え残すため、現地でのオールロケでの映画製作の実現に向けて皆様のご協力をお願いします。



1950年代の砂漠化したえりも岬



〈えりも町企画課内映画製作準備室〉

☎01466-2-4612

mail: erimo-kikaku@town.erimo.lg.jp

北斗市

企業誘致に係る連携・支援

企業誘致活動のサポートをお願いします

区画整理事業により造成した新函館北斗駅前の商業地約5.3haのうち、現在約1.7haの活用が決まっていない状況です。

道南地区へ進出を検討する企業に対する立地環境や補助制度等についての情報提供をしていただける金融機関及びコンサルティング事業者を募集しています。



新函館北斗駅

〈北斗市経済部水産商工労働課商工労働係〉

☎0138-73-3111

mail: syoko@city.hokuto.hokkaido.jp



名寄市のスポーツ競技施設を活用した スポーツツーリズム等の開発・販売

スポーツのまちづくり

名寄市では、スポーツを活用したまちづくりを推進しています。

国内最高峰の雪質といった自然環境や、スキー場・ジャンプ台といった競技施設を活用したスポーツツーリズム・アクティビティ商品の開発・販売に関してノウハウを提供いただける企業を募集しています。



名寄市ピヤシリシャンツェ

〈名寄市総合政策部スポーツ合宿推進課〉

☎01654-3-2111

mail : kikuchi-takafumi@city.nayoro.lg.jp



東川町

東川オフィシャルパートナー制度

新たな社会的価値を創造していく取組

東川町とつながりのある企業とパートナーシップ関係を構築し地方や日本そして世界の未来を育む社会価値の共創を目指すものです。

東川町のもつ「写真・家具」などの文化価値の創造事業や「介護福祉（外国人材）・オリンピック選手」などの人材育成事業など、共に取り組んでいただけるパートナーを募集しています。



東川町オフィシャルパートナー事業

〈東川町東川スタイル課〉

☎0166-82-2111

mail : brand@town.higashikawa.lg.jp



音威子府村

村立おといねっぴ美術工芸高校の魅力化

全国各地から生徒が集まる村立高校

美術工芸を学ぶために全国各地から生徒が訪れる村立おといねっぴ美術工芸高校は、村の重要な魅力の一つです。

生徒募集をはじめ、村立高校の魅力化のため、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。



村立おといねっぴ美術工芸高等学校（ロビー）

〈音威子府村総務課地域振興室〉

☎01656-5-3311

mail : tiikishinkou@vill.otoineppu.hokkaido.jp



小平町

おびら和牛の振興に向けて

スマート農業の実現にご協力ください

おびら和牛の振興のため、畜舎を新築・改築し、AIやICTを活用した自動給餌器、哺乳ロボット等の導入に加え、クラウド牛群管理システム等の導入を検討しています。

スマート農業の実現化に向けて、ノウハウを提供いただける企業を募集しています。



おびら和牛振興に向けて

〈小平町企画振興課〉

☎0164-56-2111

mail : ogata.masaki@town.obira.lg.jp



枝幸町

労働力・人材不足の解消

機械化・技術革新へのご協力を

枝幸町では、過疎化、少子高齢化による漁業・酪農などの一次産業、水産加工や介護・福祉分野での労働力と人材不足が顕著となっています。

機械化や技術革新での課題解消に向けて協力いただける企業を募集しています。



ほたて漁船乗組員の水揚げ作業

〈枝幸町まちづくり推進課〉

☎0163-62-1329

mail : futabashuji@esashi.jp



利尻富士町

新産業開拓プロジェクト

高齢者も移住者も一緒になって働ける場の創設

新たな産業を開拓し、退職後の方や高齢者が従事することで、生きがいの創出、稼げる化により地域の活性化を図るとともに、移住者も取り込みます。

日本名水百選の豊かな水と雄大な自然など、地域資源を活用した新たな産業の可能性について、調査・協力いただける企業を募集しています。



利尻富士町の漁業の様子

〈利尻富士町企画政策課〉

☎0163-82-1112

mail : kikaku@town.rishirifuji.hokkaido.jp



遠軽町

サテライトオフィス等の設置に対する補助

建設費や通信費を支援します

遠軽町では、サテライトオフィス等を町内に立地していただける企業等を募集しています。

サテライトオフィス等の建築費用または既存建築物の改修費用、通信環境整備のための初期費用、サテライトオフィス等の供用開始後12月分のインターネット通信費用について、250万円を上限に10分の10の補助制度がありますのでぜひご活用ください。



遠軽市街地



〈遠軽町総務部企画課〉

☎0158-42-4818

mail : kikaku@engaru.jp

豊頃町

過疎地における地域内交通手段の確保

地域交通の確保に向けて

豊頃町では、高齢化の進展に伴い市街地と集落を結ぶ地域内交通手段の確保が課題となっています。

市街地とJR駅を結ぶバスや町立医院を利用する方のためのバスを運行していますが、集落から市街地を結ぶ路線は整備されておらず、また広範囲に及ぶため行政だけの対応が難しい状況にあります。

これらの課題の解決に協働して取り組んでいただける企業を募集しています。



豊頃町コミュニティバス



〈豊頃町企画課町づくり推進係〉

☎015-574-2216

mail : kikaku@toyokoro.jp

鶴居村/黒松内村/美瑛町/赤井川村/標津町/江差町/清里町/京極町/中札内村

日本で最も美しい村ビューティフルデー

清掃活動に御協力を！

美しい景観を損ない、海洋汚染等で問題視されているプラスチックごみ等の流出を防ぐため、10月4日を「ビューティフルデー」として、各地域で一斉ゴミ拾いを実施しています。

この取組を継続していくため、清掃ボランティアの方々へのお礼の品や清掃用具の提供、地域の清掃への参加などに協力いただける企業を募集しています。



ビューティフルデーの様子



〈中札内村総務課企画財政グループ〉

☎0155-67-2491

mail : s-kikaku@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

道内市町村で利活用が可能な遊休施設

企業等の皆様が利活用可能な遊休公共施設を紹介しています。

サテライトオフィス設置、工場開設等、今後の道内での事業展開の際に、是非ご検討ください。企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。

【遊休施設（市町村所有）のある市町村と施設数】

後志	蘭越町(1)	後志	積丹町(2)	日高	新冠町(1)	日高	様似町(1)
日高	新ひだか町(2)	日高	えりも町(1)	上川	旭川市(5)	上川	比布町(1)
上川	上富良野町(2)	上川	中富良野町(1)	宗谷	稚内市(10)	十勝	士幌町(1)
十勝	上士幌町(1)	釧路	厚岸町(2)	釧路	標茶町(2)		

【遊休施設（北海道教育庁所有）のある市町村と施設数】

後志	小樽市(1)	渡島	函館市(1)	留萌	留萌市(1)	十勝	浦幌町(1)
----	--------	----	--------	----	--------	----	--------

蘭越町

おおゆぬま 蘭越町大湯沼自然展示館

土地
要相談

建物
要相談

■ 概要



蘭越町大湯沼自然展示館は、自然体験型施設として平成7年（1995年）から平成25年（2013年）まで使用されました。本施設は湯本温泉郷の雪秩父温泉の傍に所在しており、同所からの眺望も良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

構造	鉄筋コンクリート造 1 階建
敷地面積	—
延床面積	406.80㎡
建築年	1995年
廃止年	2013年
利用条件等	要相談

-  所 蘭越町湯の里680番地15
-  自動車の場合
札幌市(中心部)から約2時間30分
(約110km)
-  公共交通機関の場合(JR蘭越駅まで)
JR札幌駅から約3時間20分

〈蘭越町商工労働観光課〉

☎ 0136-57-5111

mail : kankou@town.rankoshi.lg.jp

積丹町

しゃこたん 旧積丹岬キャンプ場



積丹岬キャンプ場は、昭和63年（1988年）に完成し、平成18年（2006年）10月まで使用されていました。

本施設は、当町を代表する景勝地の1つ「島武意海岸」のすぐそばにあり、海岸までのアクセスも良好です。地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地
賃貸借

建物
要相談

■ 概要

構造	—
敷地面積	5,600.00㎡(緑地広場) 2,601.00㎡(駐車場)
延床面積	—
建築年	1988年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること。

所 積丹町大字入舸町

自動車の場合
新千歳空港から約2時間30分
(約150km)
札幌市(中心部)から約2時間
(約100km)
※共に高速道路利用

〈積丹町企画課〉

☎ 0135-44-2114

mail: kikaku@town.shakotan.lg.jp

積丹町

いりか 旧入舸小学校



旧入舸小学校は、昭和59年（1984年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。

本施設は、当町を代表する景勝地の1つ「島武意海岸」を有する入舸町にあり、施設の立地も道道沿いに位置しており、交通のアクセスも良好です。地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地
賃貸借

建物
要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造 体育館：鉄骨鉄筋コンクリート造
敷地面積	11,076.00㎡
延床面積	校舎：630.17㎡ 体育館：509.00㎡
建築年	1984年
廃止年	2010年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること。

所 積丹町大字入舸町158-2

自動車の場合
新千歳空港から約2時間30分
(約150km)
札幌市(中心部)から約2時間
(約100km)
※共に高速道路利用

〈積丹町企画課〉

☎ 0135-44-2114

mail: kikaku@town.shakotan.lg.jp

せっぽ 旧節婦小学校



旧節婦小学校は昭和53年（1978年）に完成し、平成20年（2008年）まで使用されました。本施設は、漁業を中心とした節婦地区にあり、高規格幹線道路日高自動車を利用して新千歳空港まで約1時間10分、札幌市までは約1時間50分となっています。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

■ 概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建 (一部木造)
敷地面積	1,606.09㎡
延床面積	1,524.00㎡
建築年	1978年
廃止年	2008年
利用条件等	地域住民の理解を得ることのできる 事業実施及び経営を行うこと。

所 新冠町字節婦町24-2

自動車の場合
新千歳空港から約1時間10分
(約80km)
札幌市(中心部)から約1時間50分
(約120km)

※共に高速道路利用

公共交通機関の場合
(高速バス・JR東節婦駅まで)
JR札幌駅から約1時間50分

〈新冠町企画課まちづくりグループ企画係〉

☎ 0146-47-2498

mail : teijyu@niikappu.jp

様似町

旧ソビラ荘 (特別養護老人ホーム)



特別養護老人ホーム「旧ソビラ荘」は平成2年（1990年）に完成し、平成29年（2017年）3月の施設移転に伴い、遊休化されました。本施設はJR北海道バス「様似築港前」停留所より徒歩4分（350m）の水産加工場等の多い港町地区にあります。

利活用については、業種は指定せず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

無償貸与

建物

無償貸与

■ 概要

構造	鉄筋コンクリート造平屋建 (車庫：鉄骨造平屋建)
敷地面積	13,017.01㎡
延床面積	2,227.75㎡
建築年	1990年(1999年増築)
廃止年	2017年
利用条件等	人口減少対策に繋がる、地方創生に 資する事業であること。

所 様似町港町

自動車の場合
新千歳空港から約2時間30分
(約150km)
札幌市(中心部)から約3時間
(約190km)

※共に高速道路利用

帯広市・帯広空港から約2時間30分(約150km)

〈様似町企画調整課企画係〉

☎ 0146-36-2122

mail : kikakutyouseika@samani.jp

新ひだか町

はるたち 旧春立小学校



旧春立小学校は、昭和50年（1975年）に完成し、平成24年（2012年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
売却

建物
無償譲渡

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	21,539.00㎡
延床面積	校舎：1,748.00㎡ 体育館：585.00㎡
建築年	校舎：1975年 体育館：1976年
廃止年	2012年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 新ひだか町静内春立349番1

自動車の場合
新千歳空港から約1時間40分
(約100km)
札幌市(中心部)から約2時間20分
(約150km)
※共に高速道路利用

〈新ひだか町総務部契約管財課管財グループ〉
☎ 0146-49-0276
mail : kanzai@town.shinhidaka.lg.jp

新ひだか町

けりまい 旧鳧舞小学校



旧鳧舞小学校は、平成4年（1990年）に完成し、平成23年3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
売却

建物
無償譲渡

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	14,783.00㎡
延床面積	校舎：972.00㎡ 体育館：576.00㎡
建築年	校舎：1992年 体育館：1993年
廃止年	2011年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 新ひだか町三石鳧舞120番

自動車の場合
新千歳空港から約2時間
(約120km)
札幌市(中心部)から約2時間40分
(約160km)
※共に高速道路利用

〈新ひだか町総務部契約管財課管財グループ〉
☎ 0146-49-0276
mail : kanzai@town.shinhidaka.lg.jp

とうよう 旧東洋小学校



旧東洋小学校は、昭和57年（1982年）に完成し、令和3年3月まで使用されました。
廃校となった施設を有効活用していただくため、地域振興に貢献できる事業等での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2建 体育館：鉄筋平屋建 給食棟：鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	27,293.00㎡（譲渡の際は町道部分が減面積となる）
延床面積	校舎：1,380.00㎡ 体育館：615.00㎡ 給食棟：165㎡
建築年	校舎：1982年 体育館：1983年 給食棟：1984年
廃止年	2021年
利用条件等	町民の理解を得られ、地域振興に資する事業であること。

所 えりも町字東洋189-1、251-130
車 自動車の場合
 新千歳空港から約3時間
 （約185km）
 ※高速道路利用

〈えりも町教育委員会社会教育課〉
 ☎ 01466-2-2526
 mail : erimo-syakyoun@town.erimo.lg.jp

ちよがおか 旧千代ヶ岡小学校



旧千代ヶ岡小学校は、平成9年（1997年）に建築され、平成31年（2019年）まで使用されました。グラウンドを挟んで向かいに、旧千代ヶ岡中学校があります。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	21,972.00㎡
延床面積	校舎：1,215.00㎡ 体育館：922.00㎡
建築年	1997年
廃止年	2019年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。

所 旭川市西神楽3線25号
車 自動車の場合
 旭川空港から約30分(約20km)
 札幌市(中心部)から約2時間
 ※高速道路利用 (約140km)
鉄 公共交通機関の場合
 (JR旭川駅まで)
 旭川空港から約35分(バス)
 JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

〈旭川市教育委員会学校教育政策課〉
 ☎ 0166-25-7534
 mail : tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

かむいこたん
旧神居古潭小中学校



旧神居古潭小中学校は、昭和51年（1976年）に建築され、平成19年（2007年）まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
要相談

建物
要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	10,840.00㎡
延床面積	校舎：1,240.00㎡ 体育館：724.00㎡
建築年	1976年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。

- 所** 旭川市神居町神居古潭
- 自動車の場合**
旭川空港から約30分(約20km)
札幌市(中心部)から約2時間
※高速道路利用 (約140km)
- 公共交通機関の場合**
(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

〈旭川市教育委員会学校教育政策課〉
☎ 0166-25-7534
mail : tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

ちよがおか
旧千代ヶ岡中学校



旧千代ヶ岡中学校は、昭和39年（1964年）に建築され、平成20年（2008年）まで使用されました。グラウンドを挟んで向かいに、旧千代ヶ岡小学校があります。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
要相談

建物
要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造平屋建 (一部鉄骨造) 体育館：鉄骨造
敷地面積	6,376.00㎡
延床面積	校舎：1,198.00㎡ 体育館：709.00㎡
建築年	1964年
廃止年	2008年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。

- 所** 旭川市西神楽3線25号
- 自動車の場合**
旭川空港から約30分(約20km)
札幌市(中心部)から約2時間
※高速道路利用 (約140km)
- 公共交通機関の場合**
(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

〈旭川市教育委員会学校教育政策課〉
☎ 0166-25-7534
mail : tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

旭川市

うぶん

旧雨紛中学校



旧雨紛中学校は、昭和61年（1986年）に建築され、平成21年（2009年）まで使用されました。敷地内で雨紛小学校と隣接しており、グラウンドは同小学校で使用中です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	5,141.00㎡
延床面積	校舎：1,499.00㎡ 体育館：708.00㎡
建築年	1986年
廃止年	2009年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。

- 所** 旭川市神居町雨紛
- 自動車の場合**
旭川空港から約30分(約20km)
札幌市(中心部)から約2時間
※高速道路利用(約140km)
- 公共交通機関の場合**
(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

〈旭川市教育委員会学校教育政策課〉

☎ 0166-25-7534

mail : tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

旭川市

ほくと

旧北海道旭川北都商業高等学校



旧北海道旭川北都商業高等学校は、昭和41年（1966年）に建築され、平成23年（2011年）まで使用されました。

グラウンドは民間企業で活用中です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造4階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	40,792.00㎡
延床面積	校舎：6,708.00㎡ 体育館：1,526.00㎡
建築年	1966年
廃止年	2011年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。

- 所** 旭川市台場2条1丁目
- 自動車の場合**
旭川空港から約30分(約20km)
札幌市(中心部)から約2時間
※高速道路利用(約140km)
- 公共交通機関の場合**
(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

〈旭川市教育委員会学校教育政策課〉

☎ 0166-25-7534

mail : tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

比布町

らんる 旧蘭留小学校



旧蘭留小学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。本施設は、町内の蘭留地区にあり、道央道比布北ICからも近く、旭川市中心部まで車で40分程度と都市にも近く自然豊かな場所に立地しています。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	13,160.00㎡
延床面積	校舎及び給食施設：760.10㎡ 体育館：420.00㎡
建築年	1983年
廃止年	2010年
利用条件等	有償での賃貸借も可能。ほか

所 比布町北9線14号

自動車の場合
旭川空港から約45分(約30km)
旭川中心部から約30分(約16km)

公共交通機関の場合(JR比布駅まで)
旭川空港から約1時間10分
※旭川空港～旭川駅間はバスのみ
JR旭川駅から約30分

〈比布町総務企画課財務係〉

☎ 0166-85-2111

mail : ichigo@town.pippu.hokkaido.jp

上富良野町

えほろ 旧江幌小学校



旧江幌小学校は、平成2年（1990年）に完成し、平成27年（2015年）3月末まで使用されました。

町の産業振興や雇用機会の拡大につながるよう、地域の活性化を前提とした事業の提案及び事業者を幅広く募集しています。

土地

売却

建物

売却

■ 概要

構造	鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	22,400.00㎡
延床面積	校舎：563.54㎡ 体育館：476.75㎡
建築年	1990年
廃止年	2015年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 上富良野町西9線北29号

自動車の場合
旭川空港から約30分（約23km）
旭川市中心部から約1時間（約40km）
公共交通機関の場合（JR上富良野駅まで）
JR旭川駅から約50分

〈上富良野町総務課財政管理班〉

☎ 0167-45-6980

mail : zaisei@town.kamifurano.lg.jp

上富良野町

ひがしなか 旧東中中学校



旧東中中学校は、昭和52年（1977年）に完成し、平成26年（2014年）まで使用されました。

地域の活性化や、発展に貢献できる事業の提案及び、事業者を幅広く募集しています。

土地

売却

建物

売却

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	19,861.00㎡
延床面積	校舎：1,402.28㎡ 体育館：763.85㎡
建築年	校舎：1977年 体育館：1986年
廃止年	2014年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 上富良野町東8線北18号



自動車の場合

旭川空港から約50分（約35km）

旭川市中心部から約1時間（約40km）

公共交通機関の場合（JR上富良野駅まで）

JR旭川駅から約50分

〈上富良野町総務課財政管理班〉

☎ 0167-45-6980

mail: zaisei@town.kamifurano.lg.jp

中富良野町

みなみなか 旧南中小学校



旧南中小学校は、昭和61年（1986年）に完成し、平成29年（2017年）まで使用されました。体育館は地域の公民館として活用されています。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	10,972.00㎡
延床面積	875.00㎡
建築年	1986年
廃止年	2017年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 中富良野町鹿討農場



自動車の場合

旭川空港から約45分（約40km）

旭川市中心部から約1時間10分（約49km）

公共交通機関の場合（JR中富良野駅まで）

JR旭川駅から約1時間10分

〈中富良野町教育課社会教育係〉

☎ 0167-44-2204

mail: kyouiku@nakafurano.jp

稚内市

さらきとまない 旧更喜苦内小学校



旧更喜苦内小学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄骨その他造1階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	7,266.00㎡
延床面積	校舎：463.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1974年 体育館：1987年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。

 所 稚内市大字声間村字更喜苦内

 自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)

 公共交通機関の場合(ＪＲ稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
ＪＲ旭川駅から約4時間(特急利用))

〈稚内市教育委員会教育部学校教育課〉

☎ 0162-23-6528

mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

まかりふち 旧曲渚小中学校



旧曲渚小中学校は、昭和53年（1978年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした沼川地区にあり、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	11,272.00㎡
延床面積	校舎：1,719.00㎡ 体育館：459.00㎡
建築年	1978年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。

 所 稚内市大字声間村字曲渚

 自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)

 公共交通機関の場合(ＪＲ稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
ＪＲ旭川駅から約4時間(特急利用))

〈稚内市教育委員会教育部学校教育課〉

☎ 0162-23-6528

mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かばおか

旧樺岡小中学校



旧樺岡小中学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした樺岡地区にあり、大規模草地やＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
要相談

建物
要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	8,980.00㎡
延床面積	校舎：659.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1983年 体育館：1987年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。

- 所** 稚内市大字声問村字樺岡
- 自動車の場合**
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用（約250km）
- 公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)**
稚内空港から約30分(連絡バス) JR旭川駅から約4時間(特急利用)

〈稚内市教育委員会教育部学校教育課〉
☎ 0162-23-6528
mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

とよべつ

旧豊別小中学校



旧豊別小中学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした豊別地区にあり、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
要相談

建物
要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	7,625.00㎡
延床面積	校舎：663.00㎡ 体育館：360.00㎡
建築年	1980年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。

- 所** 稚内市大字声問村字下豊別
- 自動車の場合**
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用（約250km）
- 公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)**
稚内空港から約30分(連絡バス)JR旭川駅から約4時間(特急利用)

〈稚内市教育委員会教育部学校教育課〉
☎ 0162-23-6528
mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

かみしゅうとく 旧上修徳小中学校



旧上修徳小中学校は、昭和51年（1976年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした天興地区にあり、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	鉄骨その他造2階建
敷地面積	22,374.00㎡
延床面積	校舎：767.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1976年 体育館：1988年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。

所 稚内市大字声間村字天興

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス) JR旭川駅から約4時間(特急利用)

〈稚内市教育委員会教育部学校教育課〉

☎ 0162-23-6528

mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

ひがしら 旧東浦小中学校



旧東浦小中学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。本施設は、水産業（主にホタテ業）を中心とした東浦地区にあり、日本最北端の地や宗谷丘陵も近く、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	6,443.00㎡
延床面積	校舎：655.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1980年 体育館：1986年
廃止年	2010年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。

所 稚内市大字宗谷村字東浦89

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス) JR旭川駅から約4時間(特急利用)

〈稚内市教育委員会教育部学校教育課〉

☎ 0162-23-6528

mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

あけぼの 旧曙小学校



旧曙小学校は、昭和57年（1982年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした曙地区にあり、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。
利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
要相談

建物
要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造1階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	7,173.00㎡
延床面積	校舎：329.00㎡ 体育館：280.00㎡
建築年	1982年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。

-  所 稚内市大字声間村字曙
-  自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)
-  公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス) JR旭川駅から約4時間(特急利用)

〈稚内市教育委員会教育部学校教育課〉
☎ 0162-23-6528
mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

しもゆうち 旧下勇知小中学校



旧下勇知小中学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成25年（2013年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。
利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
要相談

建物
要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	2,135.00㎡
延床面積	校舎：842.00㎡ 体育館：538.00㎡
建築年	1983年
廃止年	2013年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。

-  所 稚内市大字抜海村字下勇知
-  自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)
-  公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス) JR旭川駅から約4時間(特急利用)

〈稚内市教育委員会教育部学校教育課〉
☎ 0162-23-6528
mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

旧稚内西小中学校



旧稚内西小中学校は、平成5年（1993年）に完成し、平成27年（2015年）3月まで使用されました。本施設は、水産業を中心とした西地区にあり、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	18,429.00㎡
延床面積	校舎：2,567.00㎡ 体育館：817.00㎡
建築年	校舎：1993年 体育館：1979年
廃止年	2015年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。



所 稚内市西浜2丁目

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)公共交通機関の場合(ＪＲ稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス) ＪＲ旭川駅から約4時間(特急利用)

<稚内市教育委員会教育部学校教育課>

☎ 0162-23-6528

mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

かみゆうち

旧上勇知小中学校



旧上勇知小中学校は、昭和54年（1979年）に完成し、平成28年（2016年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、ＪＲ稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	12,197.00㎡
延床面積	校舎：1,653.00㎡ 体育館：458.00㎡
建築年	1979年
廃止年	2016年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。



所 稚内市大字抜海村字上勇知

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)公共交通機関の場合(ＪＲ稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス) ＪＲ旭川駅から約4時間(特急利用)

<稚内市教育委員会教育部学校教育課>

☎ 0162-23-6528

mail : gakkou@city.wakkanai.lg.jp

士幌町

にしかみおとふけ

旧西上音更小学校



旧西上音更小学校は平屋建てで、平成7年（1995年）に完成し、令和元年（2019年）3月まで使用された築27年の施設です。校舎は農村地区にあり帯広市から車で約1時間、帯広空港まで約1時間30分とアクセス良好です。

新たな雇用や改修に使える「最大500万円」補助制度があり、企業や個人のビジネス利活用者を募集しています。

土地
賃貸借

建物
賃貸借

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造平屋建 体育館：鉄骨その他造平屋建
敷地面積	19,600.00㎡
延床面積	校舎：1,150.00㎡ 体育館：585.00㎡
建築年	1995年
廃止年	2019年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 士幌町字上音更西3線229番地

自動車の場合
とち帯広空港から約1時間20分
(60km)

札幌市から約3時間30分
※高速道路利用（210km）

公共交通機関の場合(JR帯広駅まで)
JR札幌駅から約2時間20分(特急利用) JR帯広駅からバスで約60分

〈士幌町産業振興課産業振興グループ〉

☎ 01564-5-5213

mail: sansingroup1@shihoro.jp

上士幌町

ほくもん

旧北門小学校



旧北門小学校周辺は平坦な畑地に囲まれており、広大な十勝の景観を一望することができます。

また、国道241号に隣接しているため、場所も分かりやすく交通の利便性も高い立地条件となっています。住民の皆様との交流や連携を大切にし、地域と共生いただける事業者を募集しております。

土地
賃貸借

建物
賃貸借

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造平屋建 体育館：鉄骨その他平屋建 住宅：木造平屋建
敷地面積	10,000.00㎡
延床面積	校舎：826.00㎡ 体育館：627.00㎡ 教職員住宅：50㎡～81㎡（1戸あたり）
建築年	校舎：1986年 体育館：1992年 教職員住宅：1980～1994年
廃止年	2016年
利用条件等	要相談

所 上士幌町字居辺東15線291番地

自動車の場合
帯広空港から約1時間30分
(約75km)

札幌市(中心部)から約4時間
(約220km) ※共に高速道路利用

〈上士幌町企画財政課〉

☎ 01564-2-4290

mail: kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp

厚岸町

かみおぼろ

旧上尾幌小中学校



旧上尾幌小中学校は、平成10年（1998年）に完成し、平成21年（2009年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした上尾幌地区にあり、釧路市までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他2階建
敷地面積	25.893.00㎡
延床面積	校舎：2,076.00㎡ 体育館：772.00㎡
建築年	小学校校舎：1998年 中学校校舎：1978年 体育館：1979年
廃止年	2009年
利用条件等	地域の活性化や福祉の向上、雇用の創出、産業の振興等につながる事業であること。

所 厚岸町上尾幌6番地



自動車を利用した場合
釧路空港から約1時間20分(約70km)
釧路市(中心部)から約1時間10分(約50km)



公共交通機関の場合(JR厚岸駅まで)
釧路空港から約2時間30分(バス) JR釧路駅から約1時間

〈厚岸町総合政策課政策調整係〉

☎ 0153-52-3131

mail : seisaku@akkeshi-town.jp

厚岸町

とこたん

旧床潭小学校



旧床潭小学校は、平成11年（1999年）に完成し、平成29年（2017年）3月まで使用されました。本施設は、沿岸漁業を中心とした床潭地区にあり、釧路市までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

要相談

建物

要相談

■ 概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	18,070.00㎡
延床面積	校舎：1,732.00㎡ 体育館：664.00㎡
建築年	1999年
廃止年	2017年
利用条件等	地域の活性化や福祉の向上、雇用の創出、産業の振興等につながる事業であること。



厚岸町床潭128番地
自動車の場合
釧路空港から約1時間20分
(約70km)
釧路市(中心部)から約1時間10分
(約50km)



公共交通機関の場合(JR厚岸駅まで)
釧路空港から約2時間30分(バス) JR釧路駅から約1時間

〈厚岸町総合政策課政策調整係〉

☎ 0153-52-3131

mail : seisaku@akkeshi-town.jp

くちょう
旧久著呂中央小中学校



旧久著呂中央小中学校は、平成8年（1996年）に完成し、平成27年（2015年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした久著呂地区にあり、国道274号線が隣接し、たんちょう釧路空港へのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
賃貸借

建物
賃貸借

■ 概要

構造	木造
敷地面積	24,000.00㎡
延床面積	校舎：1,752.00㎡ 体育館：684.00㎡
建築年	1996年
廃止年	2015年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であることなど。

-  標茶町字クチヨロ原野256番地
-  自動車の場合
釧路空港から約1時間30分(約70km)
釧路市(中心部)から約50分(約50km)
-  公共交通機関の場合(JR標茶駅まで)
JR釧路駅から約50分

〈標茶町企画財政課企画調整係〉
☎ 015-485-2111
mail : k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

いやさか
旧弥栄小学校



旧弥栄小学校は、昭和57年（82年）に完成し、平成19年（2007年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした弥栄地区にあり、道道中標津標茶線沿いで、中標津空港までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
賃貸借

建物
賃貸借

■ 概要

構造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	25,348.00㎡
延床面積	校舎：730.00㎡ 体育館：409.00㎡
建築年	1982年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であることなど。

-  標茶町字上多和原野基線50-3、50-6番地
-  自動車の場合
釧路空港から約1時間30分(約70km)
釧路市(中心部)から約50分(約50km)
-  公共交通機関の場合(JR標茶駅まで)
JR釧路駅から約50分

〈標茶町企画財政課企画調整係〉
☎ 015-485-2111
mail : k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

北海道（小樽市）

おたる ろう

旧北海道小樽聾学校



旧北海道小樽聾学校は、平成元年（1989年）に建築され、平成26年（2014年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	16,169.00㎡
延床面積	校舎：2,198.00㎡ 体育館：505.00㎡
建築年	1989年
廃止年	2014年
利用条件等	有償での賃貸借も可能。



小樽市入船町4丁目31-1



自動車の場合
札幌市(中心部)から約40分
※高速道路利用(約40km)



公共交通機関の場合
(JR)
札幌駅→小樽駅(46分) ※施設まで約2.6km
小樽駅→南小樽駅まで(3分) ※施設まで約1.7km

〈北海道教育庁総務政策局施設課〉

☎ 011-204-5709

mail : kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（函館市）

とい

旧北海道戸井高等学校



旧北海道戸井高等学校は、平成7年（1995年）3月に建築され、平成27年（2015年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	32,524.84㎡
延床面積	校舎：3,810.00㎡ 体育館：963.00㎡
建築年	1995年
廃止年	2015年
利用条件等	有償での賃貸借も可能。



函館市浜町717-1(校舎)、861-2(グラウンド)



自動車の場合
函館空港から約30分(約23km)
函館駅から約40分(約28km)



公共交通機関の場合
(函館バス)
函館駅前→浜町(約1時間10分) ※施設まで約0.8km

〈北海道教育庁総務政策局施設課〉

☎ 011-204-5709

mail : kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

旧北海道留萌高等学校



旧北海道留萌高等学校は、平成12年（2000年）3月に建築され、平成30年（2018年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造4階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	52,661.00㎡
延床面積	校舎：6,324.00㎡ 体育館：966.00㎡
建築年	2000年
廃止年	2018年
利用条件等	有償での賃貸借も可能。



留萌市東雲町1丁目84



自動車の場合
札幌市(中心部)から約2時間
※高速道路利用(約150km)



公共交通機関の場合
(高速バス)
札幌駅前ターミナル→元川町(約2時間15分) ※施設まで約1km (JR)
札幌駅→留萌駅(約2時間30分) ※施設まで約2.4km

〈北海道教育庁総務政策局施設課〉

☎ 011-204-5709

mail : kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

旧北海道浦幌高等学校



旧北海道浦幌高等学校は、昭和59年（1984年）に建築され、平成22年（2010年）3月まで使用されました。

隣接しているグラウンド（約30,000㎡）は民間企業がメガソーラー用地として活用中です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	13,834.00㎡
延床面積	校舎：3,912.00㎡ 体育館：1,059.00㎡
建築年	1984年
廃止年	2010年
利用条件等	有償での賃貸借も可能。



浦幌町字帯富150-2



自動車の場合
帯広空港から約1時間(約50km)
帯広市(中心部)から約1時間(約50km)



公共交通機関の場合
(JR)
帯広駅→浦幌駅(50分 特急利用) ※施設まで約2.1km

〈北海道教育庁総務政策局施設課〉

☎ 011-204-5709

mail : kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議

企業の皆様と共に取り組むプロジェクト（令和4(2022)年11月）

発行：北海道
編集：北海道総合政策部官民連携推進室
住所：〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話：011-204-5158